

【R8年度】
七戸中学校校舎改修工事（建築Ⅰ期工事） 設計図

一 図面リスト

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A - 0	図面タイトル・図面リスト	【共通図】		【改修図】	
特 - 1	特記仕様書（1）	A - 1	案内図・配置図	A - 19	矩計図【昇降口・n'・h2c-】（A棟）
特 - 2	特記仕様書（2）	A - 2	床面積求積図	A - 20	矩計図-1【一般部】（B棟）
特 - 3	特記仕様書（3）	A - 3	建築面積求積図	A - 21	矩計図-2【職員玄関】（B棟）
特 - 4	特記仕様書（4）	A - 4	面積区画図	A - 22	職員玄関 平面詳細図（B棟）
特 - 5	特記仕様書（5）	A - 5	外部仕上表	A - 23	矩計図-3、平面図【陸屋根部】（B棟）
特 - 6	工事概要・工事手順計画・仮設計画図	A - 6	内部仕上表（1）	A - 24	施詳細図 1（B棟陸屋根改修詳細図）（既存図、改修図）
		A - 7	内部仕上表（2）		
		A - 8	内部仕上表（3）		
		A - 9	内部仕上表（4）		
		A - 10	アスベスト含有建材一覧表	【既存図】	
		A - 11	アスベスト除去作業フローチャート	A - 25	矩計図-1【一般部】（A棟）
		A - 12	1階平面図（A・B棟全体）	A - 26	矩計図-2【昇降口・n'・h2c-】（A棟）
		A - 13	2階平面図（A・B棟全体）：改修前	A - 27	矩計図-1【一般部】（B棟）
		A - 14	2階平面図（A・B棟全体）：改修後	A - 28	矩計図-2【職員玄関】（B棟）
		A - 15	3階平面図（A・B棟全体）	A - 29	平面詳細図（職員玄関）（B棟）
		A - 16	屋根伏図（A・B棟全体）	A - 30	矩計図-3、平面図【陸屋根部】（B棟）
		A - 17	立面図・断面図（A棟）		
		A - 18	立面図・断面図（B棟）		

令和 8 年 3 月

株式会社 川島隆太郎建築事務所

NOTE	工事名称	七戸中学校校舎改修工事（建築Ⅰ期工事）		縮尺		単位 MM		R8 年 3 月 作製	図面名称	図面タイトル・図面リスト
				所 長	部 長	課 長	担 当	製 図	製 図	
	青森県A1の2号	株式会社	川島隆太郎建築事務所	TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877			田中		田中	A — 0
	管理 建築士 1級建築士登録113986号 川島 芳正									

[illegible]

5
建具改修工事

・複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
・建具表による
・
断熱性による区分
・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6
日射取得性、日射遮蔽性による区分
・G ・S
乾燥気体の種類
・空気 ・アルゴン
・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
・
日射熱遮へい性による区分
・1種 ・2種 ・3種
耐久性による区分（日射熱遮へい性が2種の場合）
・A類 ・B類
・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
・

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)
アルミニウム製	・シーリング材 ・グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・
ステンレス製	・シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・
樹脂製	・グレイジングガスケット ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・

[5. 14. 5]

呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能
・160×160	・95 ・				
・200×200	・95 ・				

壁用金属枠及び補強材
※図示による
力骨
材質
※ステンレス鋼 (SUS304)
・
寸法
※径5. 5mm
形状
※はしご形状横筋及び単筋
・
化粧目地モルタルの色（・白 ・グレー）
シーリングの種類（・SR-1 ・PS-1）
金属製化粧カバー
材質
・ステンレス製
・アルミニウム製
寸法
※図示による
形状
※図示による
目地部の横力骨の納まり
※ガラスブロック製造所の仕様による
・図示による
・
工法
1章 適用区分による風圧力の（・1 ・1. 15 ・1. 3）倍の風圧力に対応した工法

・ガラス用フィルム

⑥
内装改修工事

① 改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 [6. 1. 3]
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示による
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
①図示による
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま
・図示による

② 既存床の撤去及び
下地補修

・既存壁の撤去及び
下地補修

③ 施工一般

・製材 ㊦

・造作用集成材 ㊦

既存間仕切壁の撤去
※仕上材のみ（接着剤とも）
①下地モルタルとも ②図示による ・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法
・機械的除去工法
・目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲
※図示による

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6. 3. 2]
※改修標準仕様書4. 3. 10)によるモルタル塗り全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示による）
・

材料のホルムアルデヒド放散量 [6. 5. 2]
※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6. 5. 2. 1) (a) (b) による
・

・JAS 1083-5 製材・第5部に基づく下地用製材 [6. 5. 2]

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※2級 ・	※A種 ・B種		・
		※2級 ・	※A種 ・B種		・
		※2級 ・	※A種 ・B種		・

・JAS 1083-2 製材・第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面		※上小節 ・	※A種 ・B種		・
見え掛り面以外		※小節以上 ・	※A種 ・B種		・

・JAS 1083-6 製材・第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※1等 ・	※10%以下 ・A種 ・B種		・
		※1等 ・	※10%以下 ・A種 ・B種		・
		※1等 ・	※10%以下 ・A種 ・B種		・

・JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
		（ ） 造作材の場合 （※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・	・
		（ ） 造作材の場合 （※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・	・
		（ ） 造作材の場合 （※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・	・

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 [6. 5. 2]

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※1等 ・2等 ・	・
					※1等 ・2等 ・	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等 ・	・
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等 ・	・
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等 ・	・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下 ・	・
				※15%以下 ・	・
				※15%以下 ・	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・

・JAS 0701に基づく造作用単板積層材 [6. 5. 2]

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
				・適用する ・適用しない	・

・JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の適用
			※14%以下 ・	・適用する ・適用しない	・

・JAS 3079に基づく直交集成板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	間伐材等の適用
							・

・「合板の日本農林規格」による普通合板 ㊦ [6. 5. 2]

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	※5. 5 ・		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による構造用合板 ㊦

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D以上 ・	※12 ・	・適用する ・適用しない	（ ） ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 ㊦

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			・特類 ・1類	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 ㊦

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理の適用	
			・1類 ・2類	・適用する ・適用しない	

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 ㊦

施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない

・接合具等

① 接着剤

・防腐・防蟻処理

・内部間仕切軸組及び床組み

・窓、出入口その他

・軽量鉄骨天井下地

・パーティクルボード ㊦

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)
		※13タイプ ・	※P又はM ・		※15 ・

・JAS 0360 に基づく構造用パネル

施工箇所	寸法 (mm)

・MDF ㊦

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

造作材の化粧面の釘打ち [6. 5. 3]
※隠し釘打ち
・釘隠埋め木
・つぶし頭釘打ち
・釘頭現し
諸金物
※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
（改修標準仕様書表6. 5. 3～5)に示す程度の市販品 表8. 20. 1のF種程度）
・（形状： 寸法： 材質： ）

接着剤のホルムアルデヒド放散量 [6. 5. 3. 4]
※F☆☆☆☆
・

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 [6. 5. 5]

適用部材	保存処理性能区分
	・K2 ・K3 ・K4

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※薬剤の製造所の仕様による	※JIS K 1571に適合又は同等品
・		
・		

・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理
適用部位（ ）
・合板等の加圧注入処理等の適用
適用部位（ ）

・間仕切軸組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) [6. 5. 6]
※杉又は松
・
・床組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※杉又は松
・

・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) [6. 5. 7]
※元杵、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉
・

野縁等の種類 [6. 6. 2～4]
屋外
※25形 ・19形
屋内
※19形 ・25形
屋外の形式及び寸法
野縁受、つりボルト及びびンサートの間隔
・図示による
周辺部の端からの間隔
・図示による
野縁の間隔
・図示による
既存の埋込みインサート
・使用する ・使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
・行う
試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所
・（ ）箇所
引張試験にて確認する強度 ※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面板構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m²以内の天井の場合は400mm程度
・（ ）N
・行わない
・つりボルトの間隔が900mmを超える場合
（補強方法 ※図示による ・ ）
・天井のふところが3. 0mを超える場合
（補強方法 ※図示による ・ ）
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
（補強箇所 ※図示による ・ ）
（補強方法 ※図示による ・ ）

NOTE

工事名称
七戸中学校校舎改修工事（建築Ⅰ期工事）
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017 (741) 6497 FAX 017 (742) 1877

縮尺
—
所 長 部長 課長 担当 製図 製図

単位
MM

R 8 年 3 月 作製
特 — 3

図面名称
特記仕様書（3）
管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正

⑥

内装改修工事

・軽量鉄骨壁下地
スタッド、ランナの種類
※改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
・図示による
・
スタッドの高さが5.0mを超える場合
※図示による
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※改修標準仕様書6.7.4(5)による
・

[6.7.3、4] [表6.7.1]

○ビニル床シート

[G]

[6.8.2、3]

種類の記号	色柄	厚さ（mm）	備考
※FS（複層ビニル床シート） ・	・無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2.0 ○2.8	

接合部の処理
※熱溶接工法

・ビニル床タイル

[G]

[6.8.2]

種類の記号	色柄	寸法（mm）	厚さ（mm）	備考
※KT（コブゲーションビニル床タイル） ・	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	※2.0 ・3.0	
・TT（単層ビニル床タイル） ・	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・	
・FT（複層ビニル床タイル） ・	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・2.5 ・3.0	
・FOA（置敷きビニル床タイル） ・	・無地 ・柄物	・500×500 ・	・4.0 ・	
・FOB（薄型置敷きビニル床タイル） ・	・無地 ・柄物	・ ・	・ ・	

・特殊機能床材

[G]

[6.8.2]

・帯電防止床シート
種類（ ）
性能（ ）
厚さ(mm)（ ）
・帯電防止床タイル
種類（ ）
性能（ ）
寸法(mm)（ ）×（ ）
厚さ(mm)（ ）
・視覚障害者用床タイル
視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。
種類（ ）
形状（ ）
・耐動荷重性床シート
種類（ ）
厚さ(mm)（ ）
・防滑性床シート
種類（ ）
厚さ(mm)（ ）
・防滑性床タイル
種類（ ）
寸法(mm)（ ）×（ ）
厚さ(mm)（ ）

[6.8.2]

・ビニル幅木

[G]

[6.8.2]

材質の種類
・軟質 ・硬質
高さ(mm)
※60 ・75 ・100
厚さ(mm)
※1.5以上

[6.8.2]

・ゴム床タイル

[G]

[6.8.2]

種類
・単層品 ・積層品
色柄（ ）
厚さ(mm)
・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0
寸法(mm)（ ）×（ ）

[6.8.2]

・カーペット敷き

[G]

[6.9.2、3] [表6.9.1]

織り方	バイル形状	備考 (参考価格)
・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットバイル ・ループバイル ・カット/ループバイル	

色柄
※模様のない無地
・
バイル糸の繊維種等
※無地の織りじゅうたんの種別（・A種 ・B種 ・C種）
・
帯電性
・適用する ・適用しない
織じゅうたんの接合法
※ヒートボンド工法
・つづり縫い
下敷き材
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種1号 呼び厚さ 8mm
・

・畳敷き

[G]

[6.12.2]

・タフテッドカーペット
バイル形状
ハイル長さ（mm）
工法
帯電性
備考
(参考価格)

・カットバイル
・ループバイル
・カット、ループ併用
・
下敷き材(グリッター工法の場合)
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第212号 呼び厚さ 8mm
・
タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

・タイルカーペット
バイルの形状
種類
施工箇所
寸法（mm）
総厚さ（mm）
備考
(参考価格)

※ループバイル
・第一種
・第二種
※500×500
・
※6.5
・
・カットバイル
・第一種
・第二種
※500×500
・
※6.5
・
・カット・ループ併用
・第一種
・第二種
※500×500
・
※6.5
・
・

タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
タイルカーペットの敷き方
平場
※市松敷き
・模様流し
・
階段部分
※模様流し
・市松敷き
・
見切り、押え金物
材質（ ）
種類（ ）
形状等
※図示による

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ポリ樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 珪矽樹脂系塗床		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂もみれ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ

塗床材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

・フローリング張り

[G]

[6.11.2～6]

フローリングのホルムアルデヒドの放散量等
※改修標準仕様書6.11.2(2)による
・
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆

・単層フローリング（フローリングボード1等）
工法
・釘留め工法（・根太張り ・直張り ）
・接着工法
樹種
※なら
間伐材等の適用
・適用する ・適用しない
・単層フローリング（フローリングブロック1等）
樹種
・
厚さ（mm）
・
大きさ
・
間伐材等の適用
・適用する ・適用しない
・複合フローリング
工法
・釘留め工法（・根太張り ・直張り ）
・接着工法
樹種
※なら
種別
・A種 ・B種 ・C種
間伐材等の適用
・適用する ・適用しない
接着工法の場合の不陸緩和材
※合成樹脂発泡シート
・
・現場塗装仕上げ
※ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地そのままワックス塗り

種別
・A種 ・B種 ・C種 ・D種（畳床：・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N）
下地の種類
・標準仕様書表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロロ[G]）
・
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
衝撃緩和型畳（畳表：・C1 ・C2）

・せっこうボード、その他のボード及び合板張り

[G]

[6.13.2、3]

MDF及びバーティカルボードのホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
合板のホルムアルデヒド放散量
※改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)～(d)のいずれか
・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
表面への化粧張り等の加工
※図示による

種類等	厚さ(mm)、規格等
木質系セメント板 [G] ・木毛セメント板 ・硬質(HH)・中質(MM)・普通(NN) ・木片セメント板 ・硬質(HF)・普通(NF)	※図示による ・15 ・20 ・25 ※図示による ・12 ・15 ・18 ・21 ・30

繊維強化セメント板
・けい酸カルシウム板(タイプ2)
普通ボード 0.8FK
※図示による ・6 ・8

火山性ガラス質複層板
・火山性ガラス質複層板
種類 ※図示による
※図示による

繊維板 [G]
・Sf' iTAde' nji7Ai'n'-g'-d' (MDF)
・ハードボード
・Skag'a'd'-d' （無処理）
・素地ハードボード
・未研磨板(RN)
・研磨板(RS)
・内装用化粧ハードボード(DI)
・Pin'h'-d'-g'-d'（処理）
・素地ハードボード
・未研磨板(RN)
・研磨板(RS)
・外装用化粧ハードボード(DE)
・インシュレーションボード
・A級インシュレーションボード(A-IB)
・天井仕上材
・内装仕上材 ※図示による ・3 ・7 ・9 ・12 ※図示による ・2.5 ・3.5 ・5 ・7 ※図示による ・9 ・12 ・15 ・18 |

ハーフクリックボード [G]
・単板張りハーフクリックボード
・無研磨板(VN)
・研磨板(VS)
・化粧ハーフクリックボード
・単板オナーレイ(DV)
・グラスファイバーレイ(DO)
・塗装(DC) ※図示による ・10 ・12 ・15 ・18 ※図示による ・10（難燃） ・12（難燃） |

吸音材料
・ロックウール化粧吸音板(DR)
・フラットタイプ
・凹凸タイプ
・ロックウール吸音ボード(1号)
・グラスウール吸音ボード(32K) ・9（不燃） ・12（不燃） ・12（不燃） ・15（不燃） ※図示による ・25 ・25（グラスウール包み） |

せっこうボード
・せっこうボード(GB-R)
・シェンクせっこうボード(GB-S)
・強化せっこうボード(GB-F)
・せっこうラックボード(GB-L)
・不燃層層せっこうボード(GB-NC)
・化粧無し(下地張り用)
・化粧有り(ﾄﾗﾝﾍﾞﾝ模様の ※12.5（不燃） ・15（不燃） ・12.5（・不燃 ・準不燃） ・12.5（不燃） ・15（不燃） ・9.5 ・9.5（不燃） |

合板類
・普通合板 [G]
表板の樹種名：
板面品質：
防虫処理
・行う ・行わない
・天然木化粧合板 [G]
化粧板の樹種名：
防虫処理
・行う ・行わない
・特殊加工化粧合板 [G]
化粧加工の方法
・オナーレイ ・プリント ・塗装
表面性能
防虫処理
・行う ・行わない ※図示による ・ ※図示による ・ ※図示による ・ |

天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合
※図示による
合板類の張付け
・A種 ・B種
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類
※仕上表による
突付け工法及び目渡し工法のエッジの種類
・ペベルエッジ

⑤鉄筋工事

○鉄筋

(5.2.1)

鉄筋の種類等

種類の記号	呼び径 (mm)	備 考
○SD295		
・SD345		
・		
・		

(5.2.2)

鉄線の形状等

種 類	種類の記号	鉄線の形状、綱目寸法、鉄線の径 (mm)	使用 部 位
○溶接金網		φ6-100×100	屋 上
・鉄筋格子			

(5.3.4)(5.5.3)(5.6.3)

鉄筋の継手の方法等

部 位	継 手 の 方 法	呼 び 径 (mm)
柱、梁の主筋	・ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手 ・重ね継手	
耐力壁の鉄筋	・重ね継手	
その他の鉄筋 ()	○重ね継手	

継手位置
・ 図示による (構造関係共通事項 (配筋標準図) 5.1、6.1、7.1、7.3、8.1)
・
柱及び梁主筋の重ね継手の長さ
・ 図示による (構造関係共通事項 (配筋標準図) 3.1(a)(2)及び表3.1)
耐力壁の重ね継手の長さ
・ 図示による (構造関係共通事項 (配筋標準図) 3.1(a)(2)及び表3.1)

鉄筋の定着長さ (5.3.4)
鉄筋の定着長さ
・ 図示による (構造関係共通事項 (配筋標準図) 3 . 1 (b))
機械式定着工法
・ 適用する
適用箇所
・ 図示による ()
種類
・ 摩擦圧接接合 ・ 蝶合グラウト固定
・ 蝶合グラウト 固定
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法とする
必要定着長さ
※評定等の評価内容による
補強筋形状
※評定等の評価内容による
かぶり厚さ
※評定等の評価内容による
品質確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による

鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網を含む) (5.3.5)
最小かぶり厚さ
・ 図示による (構造関係共通事項 (配筋標準図) 4 . 1 表4 . 1)
軽量コンクリートを適用する場合
・ あり 適用箇所 ()
・ 最小かぶり厚さに加える厚さ () mm
耐久性上不利な箇所がある場合 (塩害等を受けるおそれのある部分等)
・ あり 適用箇所 ()
・ 最小かぶり厚さに加える厚さ () mm

○溶接金網

(5.2.2)

○鉄筋の継手

(5.3.4)(5.5.3)(5.6.3)

○鉄筋の定着

(5.3.4)

○鉄筋のかぶり厚さ及び間隔
(溶接金網を含む)

(5.3.5)

⑥コンクリート工事

○コンクリートの種類

(6.2.1)

コンクリートの類別
※Ⅰ類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)
・Ⅱ類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)

(6.2.1)～(6.2.4)(6.3.2)(6.10.1)(6.10.2)
・普通コンクリート
設計基準強度 (N/mm²) スラブ (cm) 気乾単位容積質量 (t/m³) 適用 箇 所
・24 ※標準仕様書表6.2.2による ・2.3程度
○21 ○18 ・ 屋上、パ`ラ`ベ`ット

構造体強度補正值 ※標準仕様書表6.3.2による

・軽量コンクリート
設計基準強度 (N/mm²) スラブ (cm) 気乾単位容積質量 (t/m³) 種類 適用 箇 所
・ ※21 ・ ・1種 ・2種
・ ・ ・

構造体強度補正值 ※標準仕様書表6.3.2による

種 類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は
フライアッシュセメントA種 (普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352 J / g 以下、かつ28日目で 402 J / g 以下のものとする)
適用箇所 ()
・高炉セメントB種 [G] 適用箇所 ()
・フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所 ()

アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1)
※A ・B

○コンクリートの
気乾単位容積質量に
よる種類及び強度等

○セメント

○骨材

○混和材料

(6.3.1)

・混和剤
混和剤の種類
※標準仕様書 6.3.1(4)(a)による
・混和材
混和材の種類
※標準仕様書 6.3.1(4)(b)による

(6.11.1)(6.11.2)
適用期間
・ 図示による ()
構造体強度補正值
・ 標準仕様書6.11.2(3)(7)による
・ 積算温度による

(6.12.2)
構造体強度補正值
※6 N / ㎠m

(6.13.1)(6.13.2)
適用箇所
・ 図示による ()
セメントの種類
・ 普通ポルトランドセメント
・ 中熱ポルトランドセメント
・ 低熱ポルトランドセメント
・ 高炉セメントB種 [G]
・ フライアッシュセメントB種 [G]
・ シリカセメント
・
・
混和材料
・ 混和剤
混和剤の種類
※標準仕様書 6.13.2(2)(7)による
・ 混和材
混和材の種類
※標準仕様書 6.13.2(4)による
スラブ
※15cm
構造体強度補正值
※標準仕様書表6.13.1による

(6.14.1)
コンクリートの種類
※普通コンクリート
セメントの種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は
フライアッシュセメントA種
・ 高炉セメントB種 [G]
・ フライアッシュセメントB種 [G]
設計基準強度
※18N / ㎠m
スラブ
※15cm又は18cm
適用箇所
※標準仕様書 6.14.1(4)(7)～(h)による

(6.15.1)
適用箇所
・ 図示による ()

(6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)
打継ぎの位置
ひび割れ誘発目地、
打継目地

(6.2.5)
・ 構造体コンクリートの
仕上り

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ
種 別 適用 箇 所
・A種
・B種
・C種

コンクリートの仕上りの平たんさ (柱・梁・壁)
種 別 適用 箇 所
・a種 化粧打ち放しコンクリート、塗装仕上げ、壁紙張り、
接着剤による陶磁器質タイル張り
・b種 仕上塗材塗り
・c種 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り、モルタル塗り、銅縁下地

コンクリートの仕上りの平たんさ (床)
種 別 適用 箇 所
・a種 合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、コンクリート直均し仕上げ、
フリークセスフロア (置敷式)
・b種 カーベット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り
・c種 タイル張り、モルタル塗り、二重床

(6.8.1)
・ 打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る)
・ 20mm
・ 打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る)
・ 10mm ・ 20mm

○型枠

(6.8.2)

せき板の材料及び厚さ
○合板 (※12mm) [G] ・
・断熱材を兼用した型枠材
使用箇所
・ 図示による ()
性能
熱抵抗値を0.73㎡・K/W以上を有するもの
・M C R工法用シート
適用箇所
・ 図示による ()
打増し厚さ ・ 20mm
打増し範囲 ・ 図示による ()
スリーブの材質・規格等
・ 図示による ()

(6.5.1)
床型枠用鋼製デッキプレートを使用する場合は、プレートが支持される梁の側面については、
打増しを行うこと。
コンクリートの打増し厚さ
※10mm
施工範囲
※図示による ()

実施要領
※図示による (構造関係共通図 (構造関係共通事項))

○ 型枠

(6.8.2)

せき板の材料及び厚さ
○合板 (※12mm) [G] ・
・断熱材を兼用した型枠材
使用箇所
・ 図示による ()
性能
熱抵抗値を0.73㎡・K/W以上を有するもの
・M C R工法用シート
適用箇所
・ 図示による ()
打増し厚さ ・ 20mm
打増し範囲 ・ 図示による ()
スリーブの材質・規格等
・ 図示による ()

(6.5.1)
床型枠用鋼製デッキプレートを使用する場合は、プレートが支持される梁の側面については、
打増しを行うこと。
コンクリートの打増し厚さ
※10mm
施工範囲
※図示による ()

実施要領
※図示による (構造関係共通図 (構造関係共通事項))

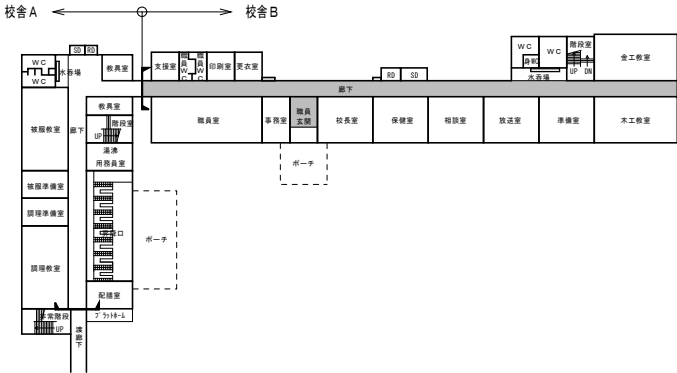
NOTE

工事名称 七戸中学校校舎改修工事 (建築Ⅰ期工事) 縮尺 ー 単位 MM R 8 年 3 月 作製
所 長 部 長 課 長 担 当 製 図 製 図
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 田中 田中 特 ー 5
FAX 017(742)1877 管理 建 築 士 1級建築士登録113986号 川島芳正

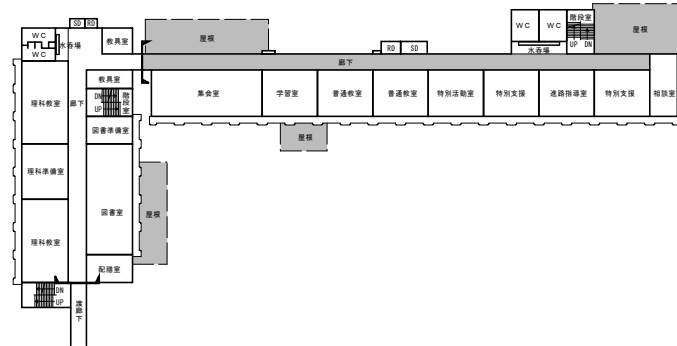
工 事 概 要

- (1) 校舎A棟 鉄筋コンクリート造 3階建
- ・防水改修工事
玄関ポーチ屋根の防水改修、ドレン更新共
- (2) 校舎B棟 鉄筋コンクリート造 3階建
- ・屋根改修工事
下屋陸屋根（玄関ポーチ屋根、L-M通間～5-9通間、金工室屋根）の防水改修、ドレン更新共
- ・内装改修工事
廊下（1～3階）床仕上改修（フローリング → 長尺塩ビシート）

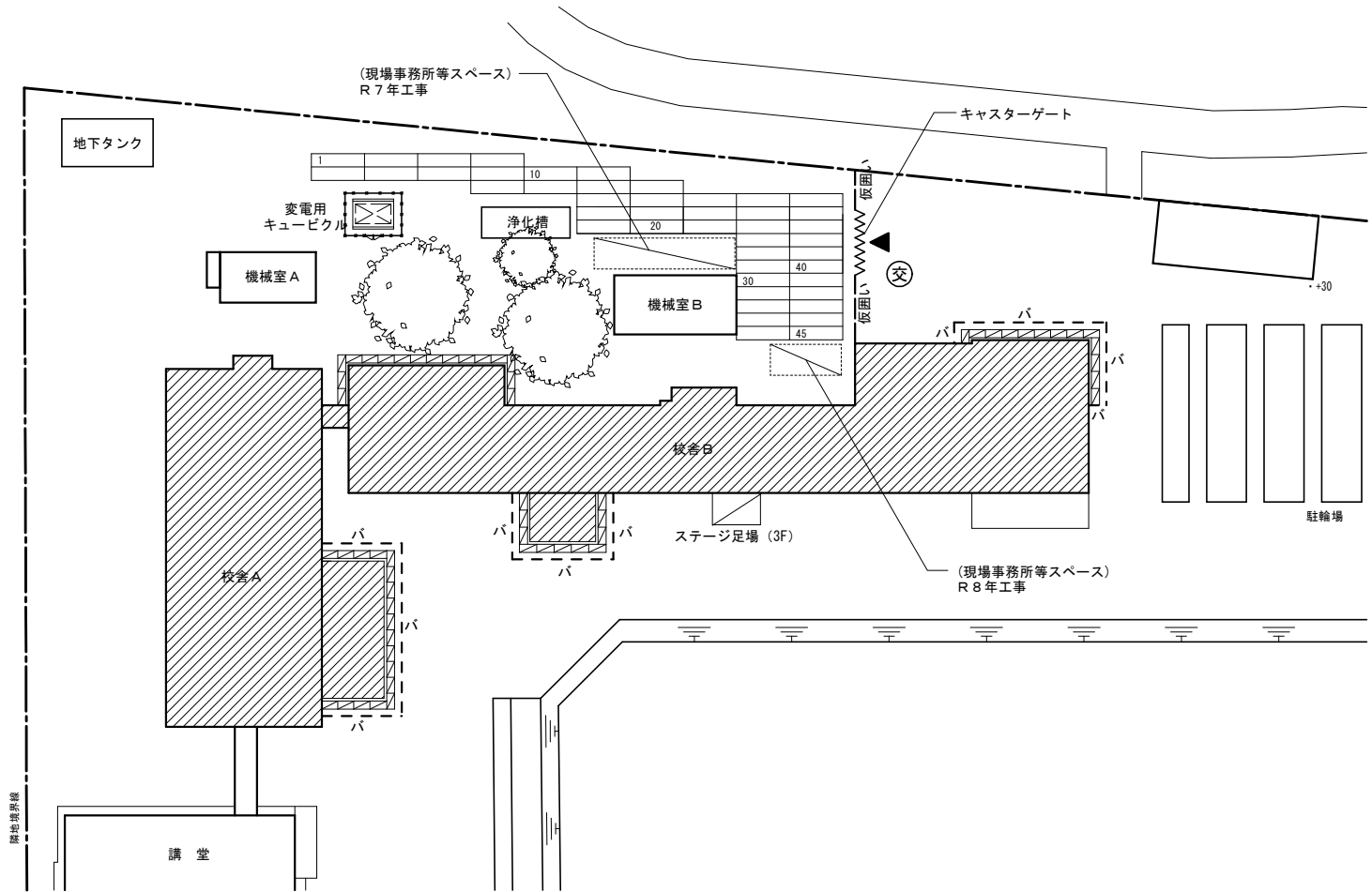
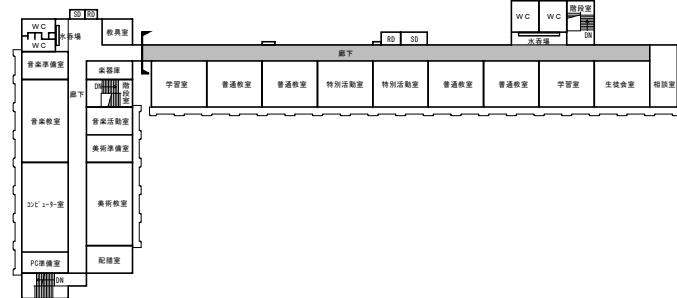
1階平面図 縮尺 1 / 600



2階平面図 縮尺 1 / 600



3階平面図 縮尺 1 / 600



仮設計画図 縮尺 1 / 400

：工事建物を示す。

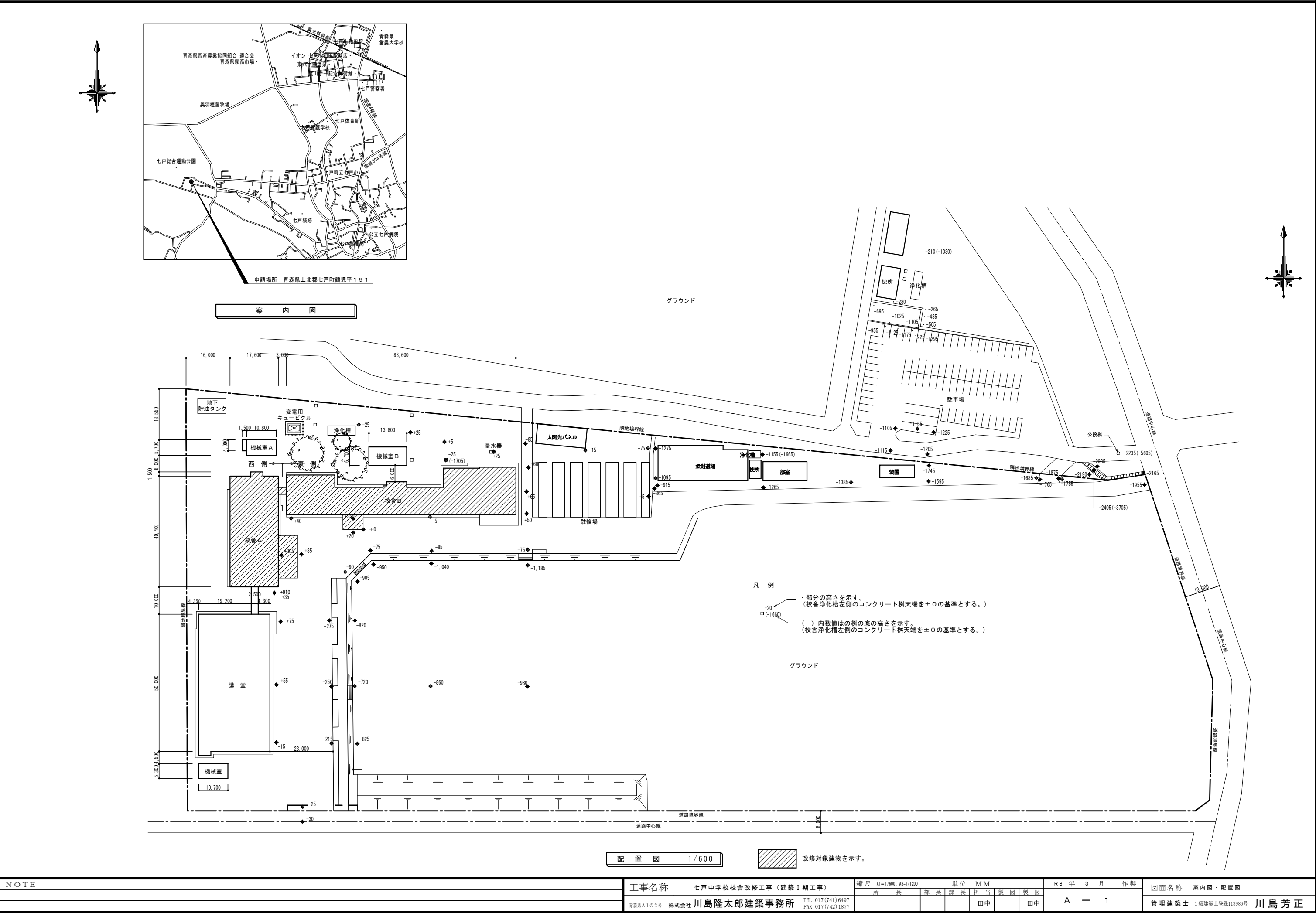
□指定仮設

凡 例	名 称	仕 様	数 量	備 考	本工内外（○印が本工事）	
——	仮囲い	波形垂鉛鉄板(H=1.8m) 9ヶ月	13 m		×	R7工事にて設置
—バ—	単管バリケード	樹脂製 環境配慮型 3ヶ月	95 m	防水工事施工時	○	
~~~~~	キャスターゲート	W6000×H1800 9ヶ月	1ヶ所		×	R7工事にて設置
	鉄板敷	W1524×L3048×t 22 7ヶ月	209 m ²	45枚	×	R7工事にて設置
⊗	交通誘導員	大型車両通行時	2 人	小運搬時は作業員にて対応	○	床材、防水材 搬入時
▲	工事出入口					
▨	外部足場	枠組本足場 W900 4ヶ月		防水工事施工時	○	
▧	ステージ足場（3F）	W5400×L3600×H8800 1ヶ月	1ヶ所	3階廊下床施工時	○	

※ 仮設ヤードは撤去後、現状復帰とする。

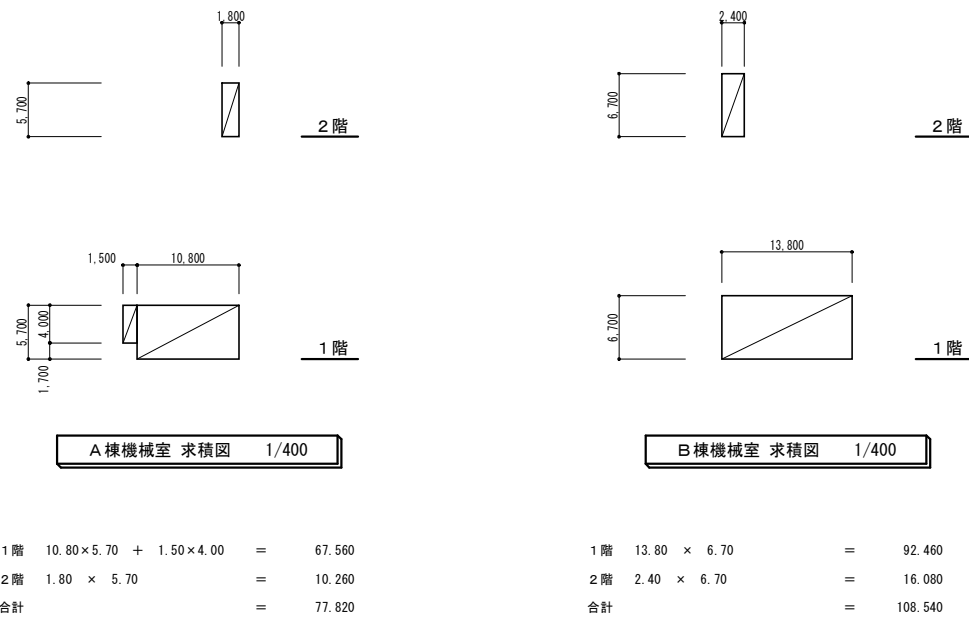
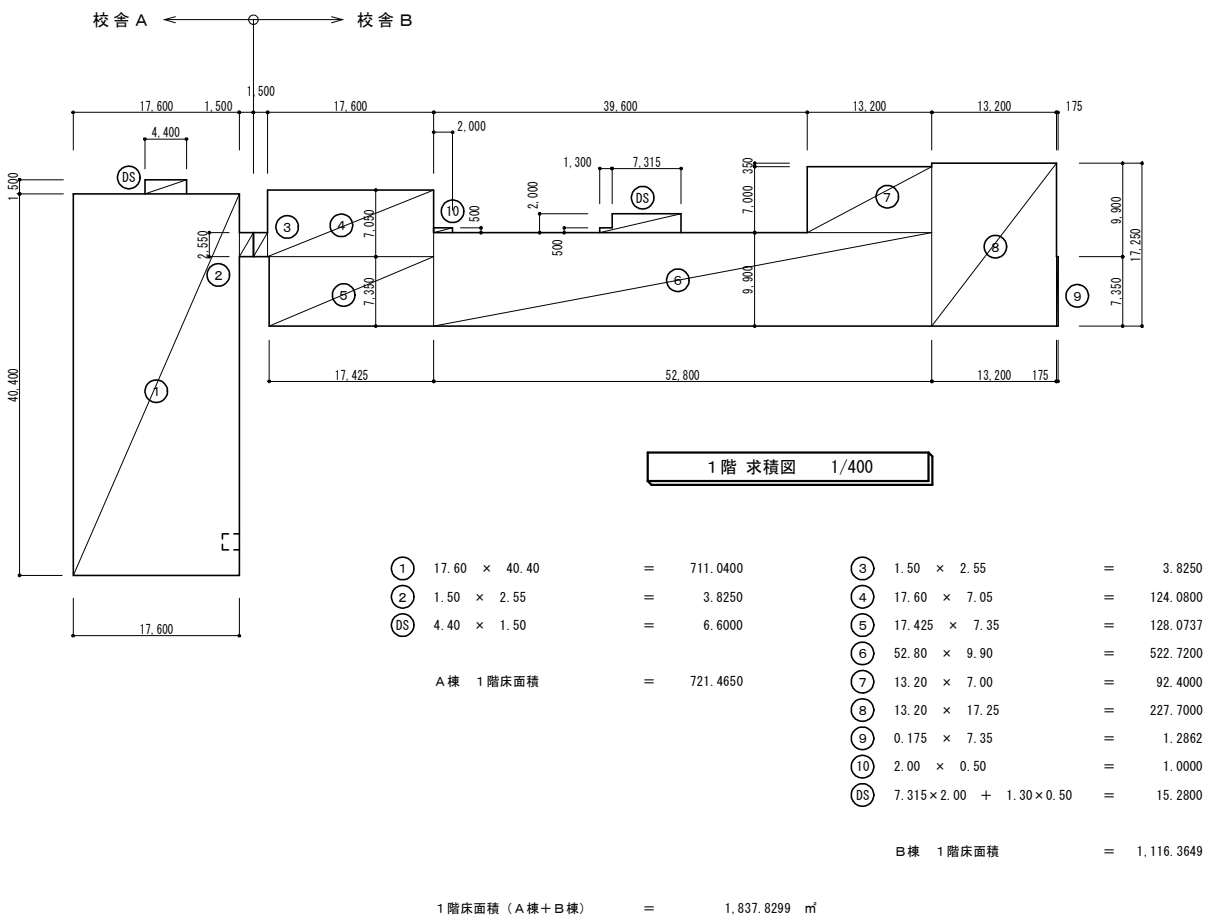
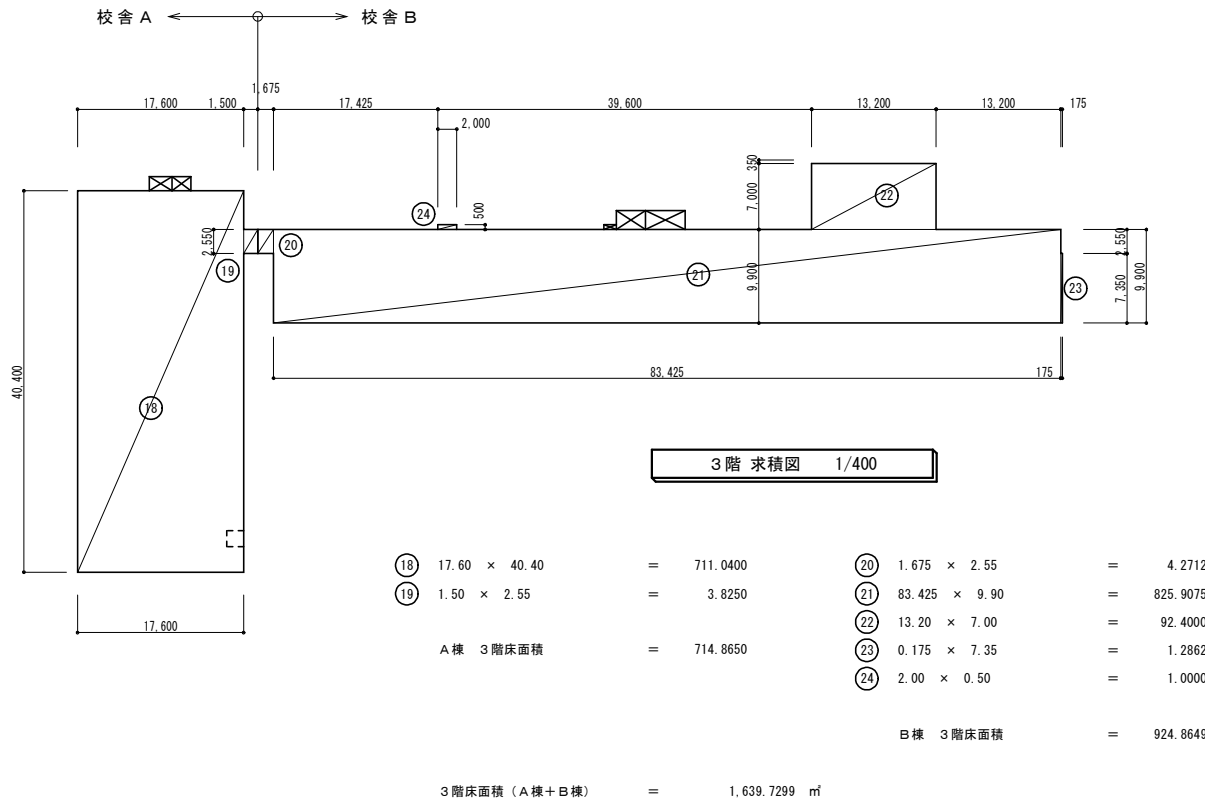
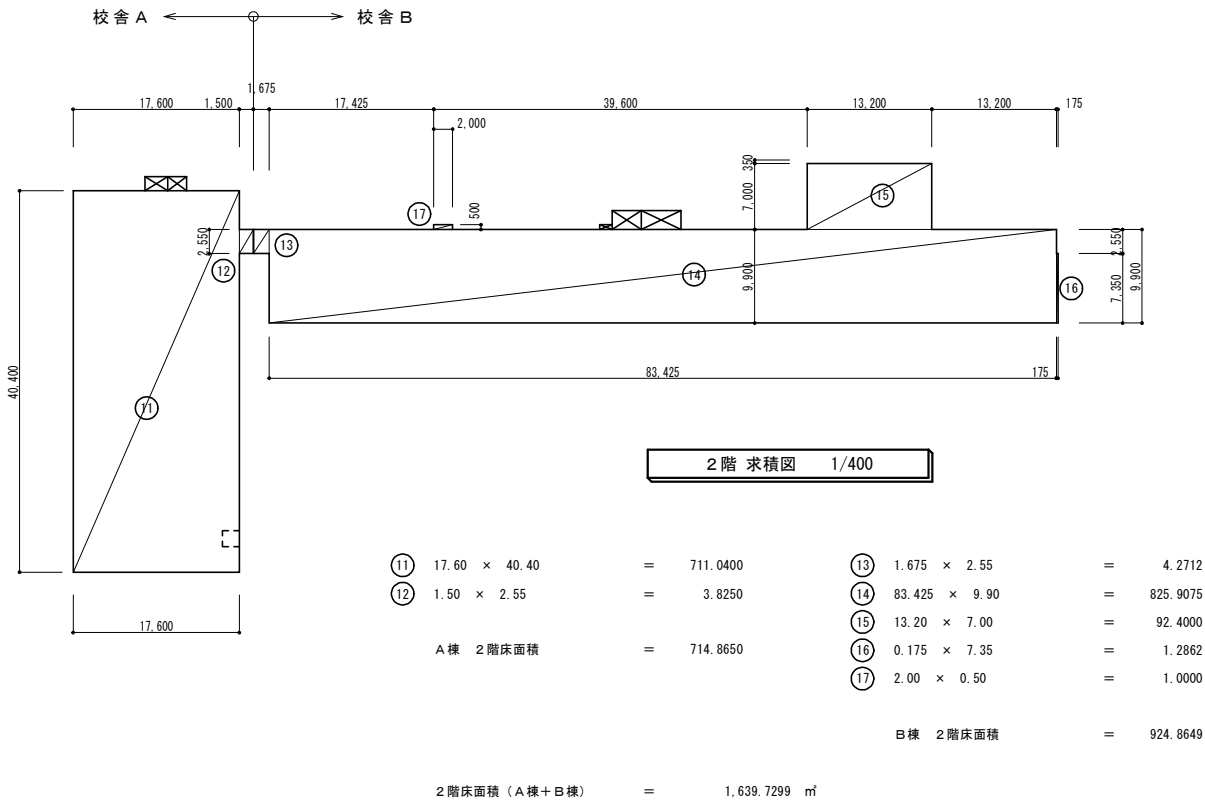
NOTE

工事名称 七戸中学校校舎改修工事（建築Ⅰ期工事）		縮尺 ー	単位 MM		R8 年 3 月 作製		図面名称 工事概要・工事手順計画・仮設計画図
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877		所 長	部 長	課 長	担 当	製 図	
				田中		田中	管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正



NOTE	工事名称	七戸中学校校舎改修工事（建築Ⅰ期工事）	縮尺	A1=1/600、A3=1/1200	単位	MM	R 8 年 3 月 作製	図面名称	案内図・配置図
	青森県A1の2号 株式会社	川島隆太郎建築事務所	TEL 017 (741) 6497 FAX 017 (742) 1877	所 長	部 長	課 長	担 当	製 図	製 図
							田中		田中
								A — 1	管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正





	A棟 校舎	B棟 校舎	校舎計 (A+B)	A棟 機械室	B棟 機械室	機械室計 (A+B)	校舎棟+機械室
1 階	721.4650	1,116.3649	1,837.8299	67.5600	92.4600	160.0200	1,997.8499
2 階	714.8650	924.8649	1,639.7299	10.2600	16.0800	26.3400	1,666.0699
3 階	714.8650	924.8649	1,639.7299				1,639.7299
計	2,151.1950	2,966.0947	5,117.2897	77.8200	108.5400	186.3600	5,303.6497

NOTE

工事名称 七戸中学校校舎改修工事 (建築Ⅰ期工事)

縮尺 A1=1/400, A3=1/800

単位 MM

R 8 年 3 月 作製

図面名称 床面積求積図

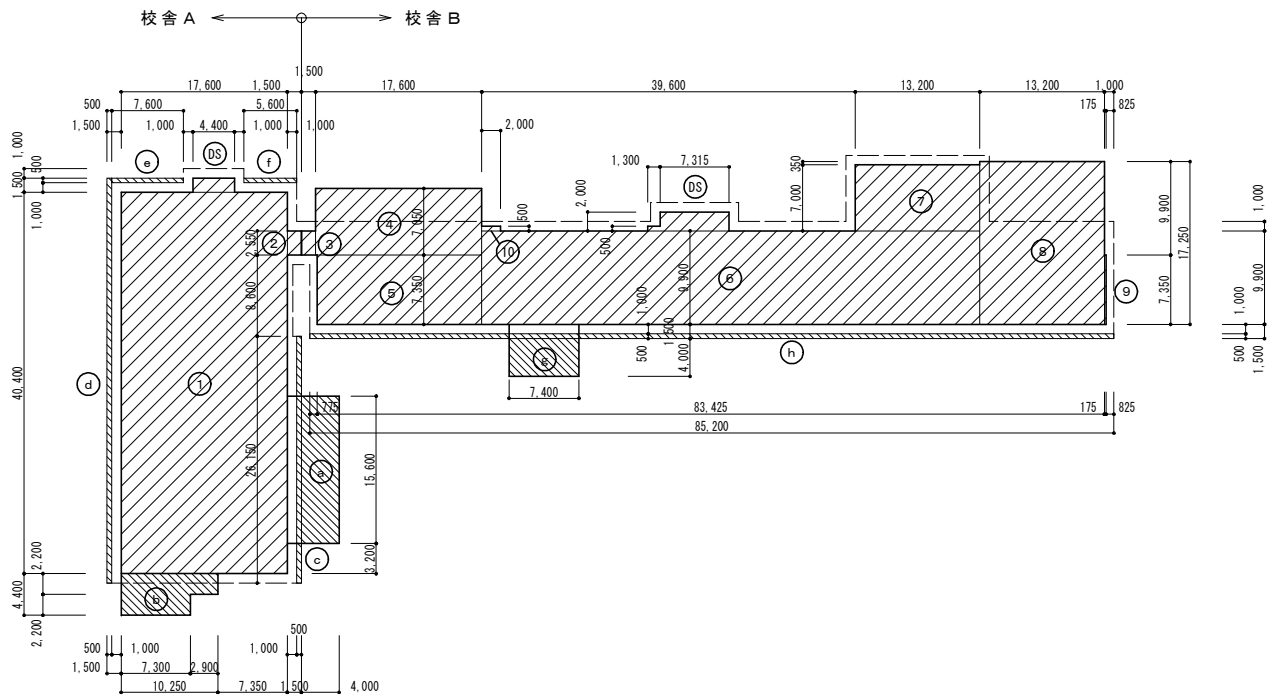
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所

TEL 017 (741) 6497  
FAX 017 (742) 1877

所 長 部長 課長 担当 製図 製図

A — 2

管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正



建築面積求積図 1/400

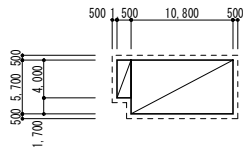
①	17.60 × 40.40	=	711.0400	③	1.50 × 2.55	=	3.8250
②	1.50 × 2.55	=	3.8250	④	17.60 × 7.05	=	124.0800
DS	4.40 × 1.50	=	6.6000	⑤	17.425 × 7.35	=	128.0737
				⑥	52.80 × 9.90	=	522.7200
				⑦	13.20 × 7.00	=	92.4000
				⑧	13.20 × 17.25	=	227.7000
				⑨	0.175 × 7.35	=	1.2862
				⑩	2.00 × 0.50	=	1.0000
				DS	7.315 × 2.00 + 1.30 × 0.50	=	15.2800

A棟 1階床面積	=	721.4650	B棟 1階床面積	=	1,116.3649
----------	---	----------	----------	---	------------

①	4.00 × 15.60	=	62.4000	①	7.40 × 4.00	=	29.6000
②	7.35 × 2.20 + 10.25 × 2.20	=	38.7200	②	85.20 × 0.50	=	42.6000
③	0.50 × 26.15	=	13.0750				
④	0.50 × 42.90	=	21.4500				
⑤	7.60 × 0.50	=	3.8000				
⑥	5.60 × 0.50	=	2.8000				

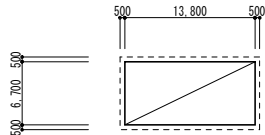
A棟 建築面積	=	863.7100	B棟 建築面積	=	1,188.5649
---------	---	----------	---------	---	------------

建築面積 (A棟+B棟)	=	2,052.2749 m ²
--------------	---	---------------------------



10.80 × 5.70 + 1.50 × 4.00 = 67.560

A棟機械室 建築面積求積図 1/400



13.80 × 6.70 = 92.460

B棟機械室 建築面積求積図 1/400

■ 建築面積一覧表

	A棟 校舎	B棟 校舎	校舎計 (A+B)	A棟 機械室	B棟 機械室	機械室計 (A+B)	校舎棟+機械室
建築面積	863.7100	1,188.5649	2,052.2749	67.5600	92.4600	160.0200	2,212.2749

NOTE

工事名称 七戸中学校校舎改修工事 (建築Ⅰ期工事)

縮尺 A1=1/400, A3=1/800

単位 MM

R 8 年 3 月 作製

図面名称 建築面積求積図

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所

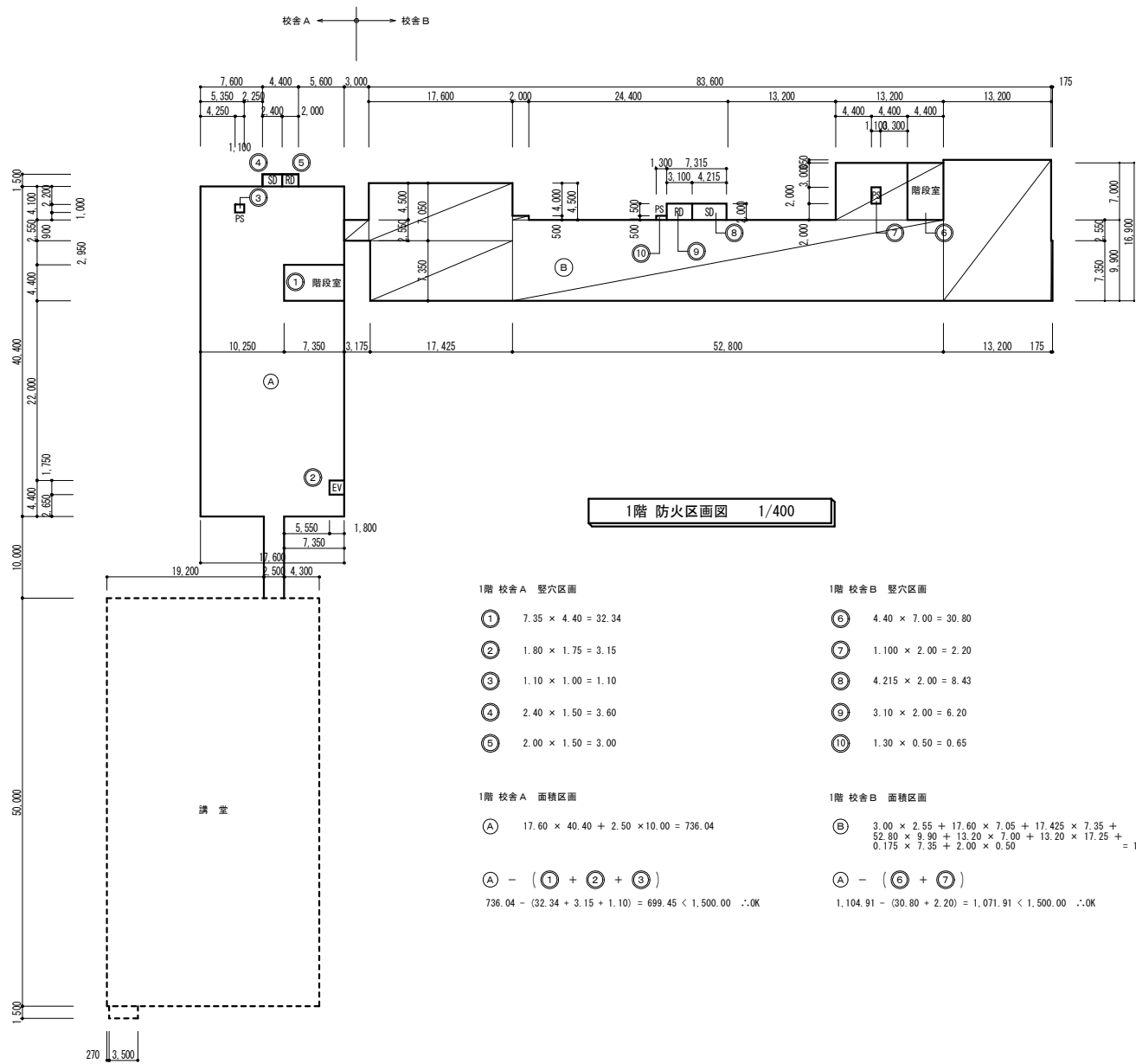
TEL 017 (741) 6497  
FAX 017 (742) 1877

田中

田中

A — 3

管理建築士 1級建築士登録113985号 川島芳正



1階 校舎A 壁穴区画

- ① 7.35 × 4.40 = 32.34
- ② 1.80 × 1.75 = 3.15
- ③ 1.10 × 1.00 = 1.10
- ④ 2.40 × 1.50 = 3.60
- ⑤ 2.00 × 1.50 = 3.00

1階 校舎A 面積区画

① 17.60 × 40.40 + 2.50 × 10.00 = 736.04

① - (① + ② + ③)

736.04 - (32.34 + 3.15 + 1.10) = 699.45 < 1,500.00 ∴OK

1階 校舎B 壁穴区画

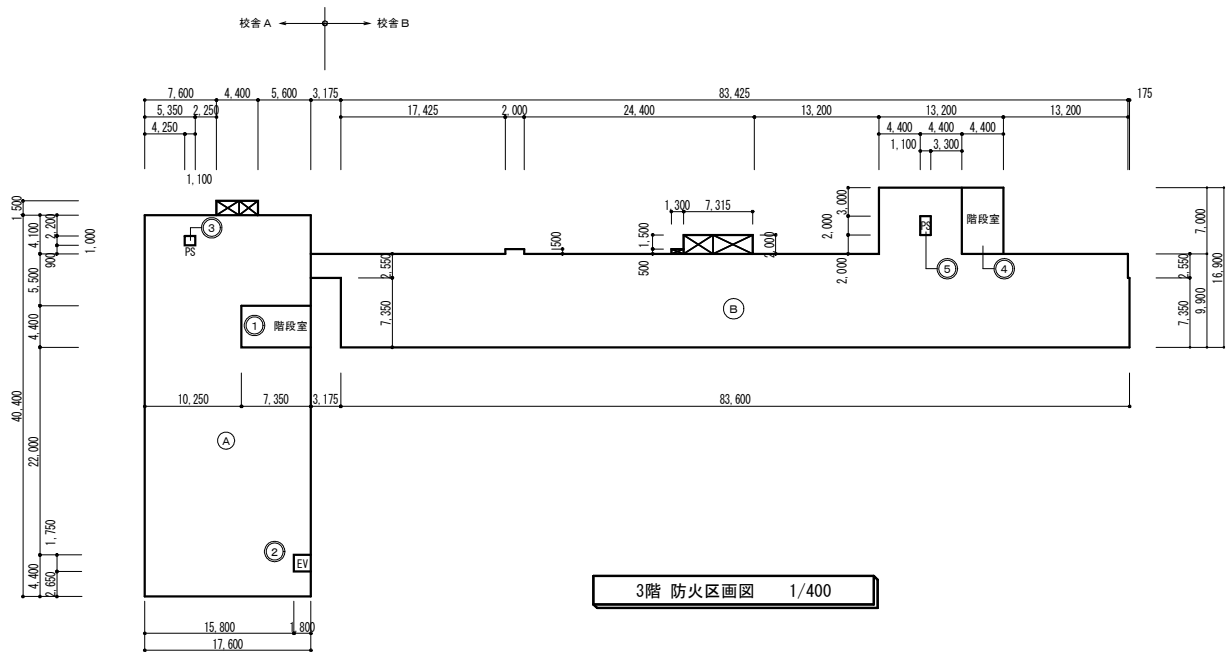
- ⑥ 4.40 × 7.00 = 30.80
- ⑦ 1.100 × 2.00 = 2.20
- ⑧ 4.215 × 2.00 = 8.43
- ⑨ 3.10 × 2.00 = 6.20
- ⑩ 1.30 × 0.50 = 0.65

1階 校舎B 面積区画

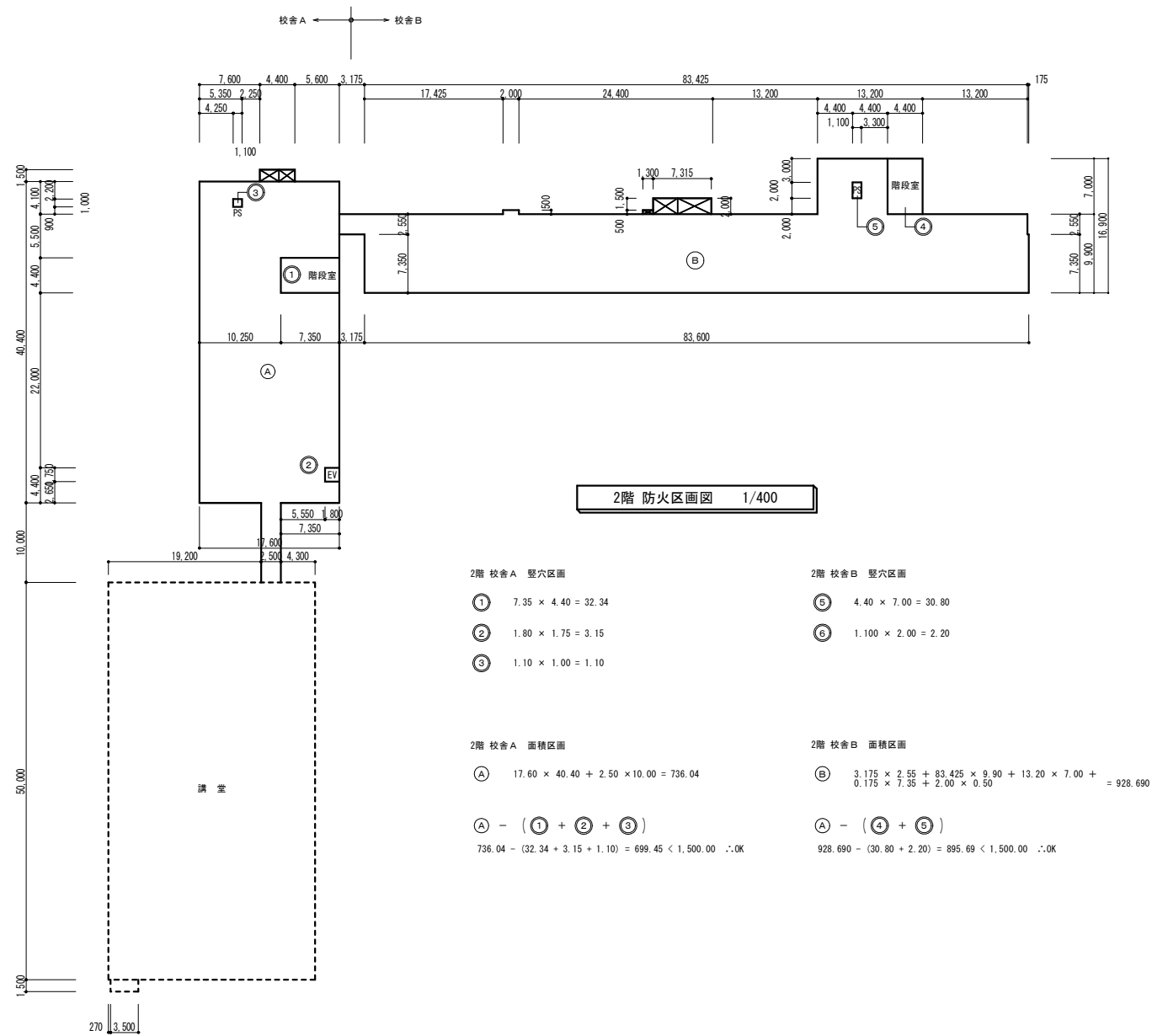
② 3.00 × 2.55 + 17.60 × 7.05 + 17.425 × 7.35 + 52.80 × 9.90 + 13.20 × 7.00 + 13.20 × 17.25 + 0.175 × 7.35 + 2.00 × 0.50 = 1,104.91

① - (⑥ + ⑦)

1,104.91 - (30.80 + 2.20) = 1,071.91 < 1,500.00 ∴OK



3階 防火区画図 1/400



2階 校舎A 壁穴区画

- ① 7.35 × 4.40 = 32.34
- ② 1.80 × 1.75 = 3.15
- ③ 1.10 × 1.00 = 1.10

2階 校舎A 面積区画

① 17.60 × 40.40 + 2.50 × 10.00 = 736.04

① - (① + ② + ③)

736.04 - (32.34 + 3.15 + 1.10) = 699.45 < 1,500.00 ∴OK

2階 校舎B 壁穴区画

- ⑤ 4.40 × 7.00 = 30.80
- ⑥ 1.100 × 2.00 = 2.20

2階 校舎B 面積区画

② 3.175 × 2.55 + 83.425 × 9.90 + 13.20 × 7.00 + 0.175 × 7.35 + 2.00 × 0.50 = 928.690

① - (④ + ⑤)

928.690 - (30.80 + 2.20) = 895.69 < 1,500.00 ∴OK

3階 校舎A 壁穴区画

- ① 7.35 × 4.40 = 32.34
- ② 1.80 × 1.75 = 3.15
- ③ 1.10 × 1.00 = 1.10

3階 校舎A 面積区画

① 17.60 × 40.40 = 711.04

① - (① + ② + ③)

711.04 - (32.34 + 3.15 + 1.10) = 674.45 < 1,500.00 ∴OK

3階 校舎B 壁穴区画

- ④ 4.40 × 7.00 = 30.80
- ⑤ 1.100 × 2.00 = 2.20

3階 校舎B 面積区画

② 3.175 × 2.55 + 83.425 × 9.90 + 13.20 × 7.00 + 0.175 × 7.35 + 2.00 × 0.50 = 928.690

① - (④ + ⑤)

928.690 - (30.80 + 2.20) = 895.69 < 1,500.00 ∴OK

NOTE

工事名称

七戸中学校校舎改修工事（建築Ⅰ期工事）

縮尺 A1=1/400, A3=1/800

単位 MM

R 8 年 3 月 作製

図面名称 面積区画図

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所

TEL 017 (741) 6497  
FAX 017 (742) 1877

所 長 部長 課長 担当 製図 製図

田中

田中

A - 4

管理建築士 1級建築士登録113985号

川島芳正

外 部 仕 上 表（A棟）			外 部 仕 上 表（B棟）		
屋 根	改修前	大屋根：ガルバリウム鋼板t-0.5 瓦棒葺き@364 + アスファルトルーフィング22kg[7A] + 木毛板t-15 + 押出硬質発砲スチロール（低温アスファルト全面接着貼）t-50 + 均しモルタルt-15（一部 雪止めL-50×50×4 S O P 止め金物（市販品）@364）	屋 根	改修前	大屋根：ガルバリウム鋼板t-0.5 瓦棒葺き@364 + アスファルトルーフィング22kg[7A] + 木毛板t-15 + 押出硬質発砲スチロール（低温アスファルト全面接着貼）t-50 + 均しモルタルt-15（一部 雪止めL-50×50×4 S O P 止め金物（市販品）@364）  B棟 下屋部分（5～9通り）：アスファルト露出防水[7A]（一部：アスファルト成形板t-6敷き） + 豆砂利コンクリートt-60（一部：クリンカータイル150角） + 絶縁シート + 押出硬質発砲スチロールt-50 + アスファルト防水[7A] + 均しモルタルt-15（水勾配1/50）、アルミ笠木W=175、アルミ製水切W30×H60  B棟 下屋部分（21～24通り）：豆砂利コンクリートt-60（一部：クリンカータイル150角） + 絶縁シート + 押出硬質発砲スチロールt-50 + アスファルト防水[7A] + 均しモルタルt-15（水勾配1/50）、アルミ笠木W=175、アルミ製水切W30×H60
	改修後	屋根・雪止：既存のまま		改修後	大屋根・雪止：既存のまま  B棟 下屋部分（5～9通り）：（既存アスファルト露出防水[7A]撤去（成形板t-6共）、既存クリンカータイル仕上撤去、敷き込み砂利撤去、雨水排出口（跳ね出し部）撤去、雨水排出口パラベット部開口塞ぎ）既存目地材撤去 → 目地モルタル充填 → 既存押さえコンクリート表面ケレン → 高圧洗浄 → 既存コンクリート面下地処理 → 環境対応型ウレタン塗膜防水材（通気緩衝工法：平場（ZHT-300）・立上り（ZHT-200L））新設 + 脱気筒（アルミダイキャスト製）新設・既存ルーフドレン撤去 → ステンレス製ルーフドレンφ100新設（O K Dレン）・防水保護板t-7.5（参考品名：ステップスクエア500H） ステンレス鍍鉄製ルーフドレン100φ新設・縦樋：配管用炭素鋼鋼管（白管SGP）100φ D P塗装新設・防水保護板t-7.5（参考品名：ステップスクエア500H） 笠木・水切：既存撤去 → アルミ笠木W=175、アルミ製水切W30×H60新設  B棟 下屋部分（21～24通り）：（既存クリンカータイル仕上撤去、敷き込み砂利撤去、雨水排出口（跳ね出し部）撤去、雨水排出口パラベット部開口塞ぎ）既存目地材撤去 → 目地モルタル充填 → 既存押さえコンクリート表面ケレン → 高圧洗浄 → 既存コンクリート面下地処理 → 環境対応型ウレタン塗膜防水材（通気緩衝工法：平場（ZHT-300）・立上り（ZHT-200L））新設 + 脱気筒（アルミダイキャスト製）新設 ステンレス鍍鉄製ルーフドレン100φ新設・縦樋：配管用炭素鋼鋼管（白管SGP）100φ D P塗装新設・防水保護板t-7.5（参考品名：ステップスクエア500H） 笠木・水切：既存撤去 → アルミ笠木W=175、アルミ製水切W30×H60新設
ポーチ庇	改修前	生使用（A棟） 屋根：アスファルト防水[7A]の上、シンダーコンクリート押え・軒天：カラーアルミスバンドレル貼t-1.0、縦樋ルーフドレンφ100（水勾配1/100）、アルミ笠木W=400、アルミ製水切笠木W=200	ポーチ庇	改修前	大屋根・雪止：既存のまま
	改修後	屋根：既存目地材撤去 → 目地モルタル充填 → 既存押さえコンクリート表面ケレン → 高圧洗浄 → 既存コンクリート面下地処理 → 環境対応型ウレタン塗膜防水材（通気緩衝工法：平場（ZHT-300）・立上り（ZHT-200L））新設 + 脱気筒（アルミダイキャスト製）新設・既存ルーフドレン撤去 → ステンレス製ルーフドレンφ100新設（O K Dレン）・防水保護板t-7.5（参考品名：ステップスクエア500H） アルミ製笠木（W=400）・水切笠木（W=200）：既存撤去 → アルミ製笠木（W=400）・アルミ製水切笠木（W=200）新設 軒天：既存のまま・縦樋：既存のまま		改修後	B棟 下屋部分（5～9通り）：（既存アスファルト露出防水[7A]撤去（成形板t-6共）、既存クリンカータイル仕上撤去、敷き込み砂利撤去、雨水排出口（跳ね出し部）撤去、雨水排出口パラベット部開口塞ぎ）既存目地材撤去 → 目地モルタル充填 → 既存押さえコンクリート表面ケレン → 高圧洗浄 → 既存コンクリート面下地処理 → 環境対応型ウレタン塗膜防水材（通気緩衝工法：平場（ZHT-300）・立上り（ZHT-200L））新設 + 脱気筒（アルミダイキャスト製）新設 ステンレス鍍鉄製ルーフドレン100φ新設・縦樋：配管用炭素鋼鋼管（白管SGP）100φ D P塗装新設・防水保護板t-7.5（参考品名：ステップスクエア500H） 笠木・水切：既存撤去 → アルミ笠木W=175、アルミ製水切W30×H60新設
屋外階段	改修前	壁：合板型枠コンクリート打放しの上、吹付タイル[7A]、段裏：リシン吹付[7A]、目地切：打継目地 ポリサルファイド系シーリング充填（20×20）、床：モルタル金銭押さえ（電熱線敷込み）	屋外階段	改修前	職員用（B棟） 屋根：アスファルト防水[7A]の上、シンダーコンクリート押え（一部：クリンカータイル150角）・軒天：カラーアルミスバンドレル貼t-1.0、縦樋ルーフドレンφ100（水勾配1/100）、アルミ笠木W=350、アルミ製水切笠木W=400
	改修後	壁・目地：既存のまま・段裏：既存のまま・床：既存のまま		改修後	屋根：既存目地材撤去 → 目地モルタル充填 → 既存押さえコンクリート表面ケレン → 高圧洗浄 → 既存コンクリート面下地処理 → 環境対応型ウレタン塗膜防水材（通気緩衝工法：平場（ZHT-300）・立上り（ZHT-200L））新設 + 脱気筒（アルミダイキャスト製）新設・既存ルーフドレン撤去 → ステンレス製ルーフドレンφ100新設（O K Dレン）・防水保護板t-7.5（参考品名：ステップスクエア500H） R D縦樋：既存塗膜 下地調整（B種）の上、錆止め塗装（C種）下地、耐候性塗料（DP）塗替え・壁樋固定金具更新 笠木・水切：既存撤去 → アルミ製笠木・アルミ製水切新設 軒天：既存のまま・縦樋：既存のまま
軒 天	改修前	コンクリート打放しの上、アクリル系リシン吹付[7A]	軒 天	改修前	コンクリート打放しの上、アクリル系リシン吹付
	改修後	既存のまま		改修後	既存のまま
外 壁	改修前	合板型枠コンクリート打放しの上、アクリル系リシン吹付[7A] 目地切・打継目地 ポリサルファイド系シーリング充填（20×20）縦目地 ポリサルファイド系シーリング充填（20×20）	外 壁	改修前	合板型枠コンクリート打放しの上、アクリル系リシン吹付 目地切・打継目地 ポリサルファイド系シーリング充填（20×20）縦目地 ポリサルファイド系シーリング充填（20×20）
	改修後	既存のまま		改修後	防水改修に伴う補修部分：コンクリート打放しの上、アクリル系リシン吹付
巾 木	改修前	下地処理の上ノロ引き仕上・昇降口、玄関：合板型枠コンクリート打放しの上、吹付タイル[7A]	巾 木	改修前	下地処理の上ノロ引き仕上・昇降口、玄関：合板型枠コンクリート打放しの上、吹付タイル
	改修後	既存のまま		改修後	既存のまま
犬 走 り	改修前	コンクリート金銭押え 目地切@1,000・一部砂利敷き込みt-200（透水コンクリート管φ200 設備工事）、歩車道境界ブロック A	犬 走 り	改修前	コンクリート金銭押え 目地切@1,000・一部砂利敷き込みt-200（透水コンクリート管φ200 設備工事）、歩車道境界ブロック A
	改修後	既存のまま		改修後	既存のまま
開 口 部	改修前	防音アルミ製建具・スチール製建具・普通アルミ製建具・建具廻りコーキング詰め（10×120）	開 口 部	改修前	防音アルミ製建具・スチール製建具・普通アルミ製建具・建具廻りコーキング詰め（10×120）
	改修後	外周部建具：既存のまま		改修後	外周部建具：既存のまま
バルコニー	改修前	床：防水モルタル金銭仕上・壁：合板型枠コンクリート打放しの上、吹付タイル[7A]	バルコニー	改修前	床：防水モルタル金銭仕上・壁：合板型枠コンクリート打放しの上、吹付タイル B棟3階バルコニー：斜降型救助袋（格納箱共）1ヶ所
	改修後	床：既存のまま・鍍鉄製ルーフ、中継ドレン100φ：既存のまま 壁：既存のまま R D縦樋：既存のまま		改修後	床：既存のまま・鍍鉄製ルーフ、中継ドレン100φ：既存のまま 壁：既存のまま R D縦樋：既存のまま B棟3階：避難器具（救助袋、格納箱共）既存のまま
ポ ー チ	改修前	100角磁器質タイル貼り・ノンスリップ：磁器質ノンスリップタイル貼り 泥落としマット600×1000（鋼製グレーチング 亜鉛メッキ品）：生徒昇降口ポーチ 3ヶ所	ポ ー チ	改修前	100角磁器質タイル貼り・ノンスリップ：磁器質ノンスリップタイル貼り、フラワーボックス：100角磁器質タイル貼り、天端：テラゾーブロック
	改修後	床：既存のまま		改修後	床：既存のまま フラワーボックス：既存のまま
そ の 他	改修前	A棟－B棟間 外壁（躯体7/7W=50）：アルミ製EXP. J（W=160）、A棟－B棟間 屋根（躯体7/7W=50）：アルミ製EXP. J笠木（W=390） ポーチ庇壁面：800×800 校章（アルミ製） プラットホーム：床－モルタル金銭仕上げ・ゴムクッション（車止めゴム）100×100	そ の 他	改修前	ポーチ庇壁面：800×800 校章（アルミ製）
	改修後	A棟－B棟間 外壁（躯体7/7W=50）アルミ製EXP. J（W=160）：既存のまま A棟－B棟間 屋根（躯体7/7W=50）アルミ製EXP. J笠木（W=390）：既存のまま ポーチ庇壁面：既存のまま（校章：既存のまま） プラットホーム床：既存のまま		改修後	ポーチ庇壁面：既存のまま（校章：既存のまま）
【 特 記 】					
・[7A]：アスベスト含有建材を示す。					
・改修部分は現況調査を十分行い、既存の状態を確認し、適切な施工を行う。・使用する材料は全てF☆☆☆☆同等品以上とし、ゼロアスベスト製品とする。・工事完了時に全工事範囲で清掃、リ・ペイントを行うこと。（サッシ・ガラスリ・ペイントを含む）					

材 料 仕 様 表		
適 用	仕 様	
断 熱 材	建物内部の既存断熱材は特記無し限り現状のままとする。（現況を下記に示す）	
	勾配屋根断熱材：押出硬質発砲スチロールt-50	・硬質石膏ボード t-9.5 不燃 NW-9645
	陸屋根断熱材：押出硬質発砲スチロールt-50	・石膏ボード t-12.5 不燃 NW-8619
	外壁部（外周）：1、3階：押出硬質発砲スチロールt-50・2階：押出硬質発砲スチロールt-38	・防水石膏ボード t-12.5 不燃 NW-9639
	外周部梁：1、3階：押出硬質発砲スチロールt-50・2階：押出硬質発砲スチロールt-38	・化粧ケイ酸カルシウム板 t-6.0 不燃 NW-8578
	外断熱の熱境部分の断熱補強：押出硬質発砲スチロールt-20	・ロックウール化粧吸音板 t-9.0、t-12.0 不燃 NW-8599
	土間下：押出硬質発砲スチロールt-75	・グラスウールボード t-50 32kg 不燃 NW-8606
		・化粧吸音石膏ボード t-9.5 不燃 NW-0879
		・化粧非吸音石膏ボード t-9.5 不燃 NW-0879
		・ビニールクロス（特記なき物） 準不燃 防火2級品 第0003号
塗 装 凡 例	EP：合成樹脂エマルションペイント	EP-G：つや有合成樹脂エマルションペイント
	CL：クリアラッカー塗り	EP：合成樹脂エマルションペイント
	SOP：合成樹脂調合ペイント塗り	A E：アクリル樹脂エナメル塗り
	NAD：アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	UC：ウレタン樹脂ワニス塗り
	DP：常温乾燥形フッ素樹脂エナメル塗り	OSV：オイルステインワニス塗り
		※ 縦線及び「-」印の造作材は、スプルース集成材とする。
		※ 化学物質の濃度測定：6ヶ所（生徒が使用する居室）
シーリング	外 部 変成シリコン系シーリング	※ 建材及び建築材料：使用する材料は全てF☆☆☆☆に対応する規格とする。（天井裏も同じ）
	内 部 ウレタン系シーリング	※ 室内カーテン、暗幕については防炎性能を有する防炎品を設置する。（カーテンは別途工事）

NOTE	工事名称 七戸中学校校舎改修工事（建築Ⅰ期工事）	縮尺 単位 MM						R 8 年 3 月 作製	図面名称 外部仕上表	
		所 長		部 長	課 長	担 当	製 図			製 図
		青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877				田中				田中

内 部 仕 上 表																								
棟	階	室 名		床		巾 木		腰 壁		中 壁		上部壁		天 井				備 考		室 名				
				下 地	仕 上			下 地	仕 上					下 地	廻り縁	仕 上	天井高							
校 舎 棟	共 通	1	改修前	廊下(A棟)	杉刈金ゴテ	フローリングブロック直貼工法t-15 O S V	木製 SOP	100	1	木下地組	合板目通し貼t-5.5 SOP 一部 合板目通し貼t-5.5 掲示クロス貼	同 左	合板目通し貼t-5.5 SOP	1	L G S	木製SOP	吸音石膏ボードt-9 (ｶﾞｰｸﾞｰ: 石膏ボードt-9) 目通し貼E P	2,400	1	B棟接続部: アルミ製E X P、Jカバー (クリア50) 床・壁・天井 (各階)	廊下(A棟)			
		2	改修後	廊下(A棟)	既存のまま	既存のまま	既存のまま	100	2	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	2	既存のまま	既存のまま	既存のまま		2		廊下(A棟)			
		3							3					3					3					
		4	改修前	階段室(A棟)	杉刈金ゴテ	ビニル床タイルt-2[7x]	木製 SOP	100	4	木下地組	合板目通し貼t-5.5 SOP 一部 モルタル V P	同 左	同 左	4	L G S	木製SOP	吸音石膏ボードt-9 (ｶﾞｰｸﾞｰ: 石膏ボードt-9) 目通し貼E P 段差: モルタル金網 V P	3階: 2,400	4	両側 木製手摺34φ (既製品)	階段室(A棟)			
		5	改修後	階段室(A棟)	既存のまま	既存のまま	既存のまま	100	5	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	5	既存のまま	既存のまま	既存のまま		5		階段室(A棟)			
		6							6					6					6					
		7	改修前	生使用便所(A棟)	既存仕上げ	杉刈金ゴテt-2の上、長尺塩ビシートt-2.5【H31年 改修】	床材立上げ	100	7	L G S	化粧ケイカル板t-6 (シール工法) 【H31年 改修】	同 左	同 左	7	L G S	木製SOP	化粧石膏ボードt-9.5【H31年 改修】	2,380	7	ライニング	生使用便所(A棟)			
		8	改修後	生使用便所(A棟)	既存のまま	既存のまま	既存のまま	100	8	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	8	既存のまま	既存のまま	既存のまま		8		生使用便所(A棟)			
		9							9					9					9					
		10	改修前	配膳室	杉刈金ゴテ	長尺塩ビシートt-2.8	木製 SOP	100	10	木下地組	合板目通し貼t-5.5 SOP	同 左	同 左	10	L G S	木製SOP	石膏ボードt-9 目通し貼E P	1階: 2,400 2,3階: 2,800	10		配膳室			
		11	改修後	配膳室	既存のまま	既存のまま	既存のまま	100	11	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	11	既存のまま	既存のまま	既存のまま		11		配膳室			
		12							12					12					12					
		13	改修前							13					13					13				
		14	改修後							14					14					14				
		15								15					15					15				
		16	改修前	廊下(B棟)	杉刈金ゴテ	フローリングブロック直貼工法t-15 O S V	木製 SOP	100	16	木下地組	合板目通し貼t-5.5 SOP	同 左	同 左	16	L G S	木製SOP	吸音石膏ボードt-9 (ｶﾞｰｸﾞｰ: 石膏ボードt-9) 目通し貼E P	2,400 2,300	16		廊下(B棟)			
		17	改修後	廊下(B棟)	新設杉刈金ゴテ	既存フローリングブロック撤去(下地モルタル共) 新規モルタル金ゴテt-37 下地の 上、木目調ビニル床シートt-2.8 (NO WAX品) 新設	SOP塗替え	100	17	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	17	既存のまま	既存のまま	既存のまま		17		廊下(B棟)			
		18							18					18					18					
		19	改修前	階段室(B棟)	杉刈金ゴテ	ビニル床タイルt-2[7x]	木製 SOP	100	19	木下地組	合板目通し貼t-5.5 SOP 一部 モルタル V P	同 左	同 左	19	L G S	木製SOP	吸音石膏ボードt-9 (ｶﾞｰｸﾞｰ: 石膏ボードt-9) 目通し貼E P 段差: モルタル金網 V P	3階: 2,400	19	両側 木製手摺34φ (既製品)	階段室(B棟)			
		20	改修後	階段室(B棟)	既存のまま	既存のまま	既存のまま	100	20	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	20	既存のまま	既存のまま	既存のまま		20		階段室(B棟)			
		21							21					21					21					
		22	改修前	生使用便所(B棟)	既存仕上げ	杉刈金ゴテt-2の上、長尺塩ビシートt-2.5【H31年 改修】	床材立上げ	100	22	L G S	化粧ケイカル板t-6 (シール工法) 【H31年 改修】	同 左	同 左	22	L G S	木製SOP	化粧石膏ボードt-9.5【H31年 改修】	2,380	22	ライニング	生使用便所(B棟)			
		23	改修後	生使用便所(B棟)	既存のまま	既存のまま	既存のまま	100	23	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	23	既存のまま	既存のまま	既存のまま		23		生使用便所(B棟)			
		24							24					24					24					
		25	改修前	普通教室	杉刈金ゴテ	フローリングブロック直貼工法t-15 O S V	木製 SOP	100	25	木下地組	合板目通し貼t-5.5 SOP	合板t-5.5下地、掲示クロス貼	吸音テックスt-9貼	25	L G S	木製SOP	穿孔石膏ボードt-9 (ｶﾞｰｸﾞｰ: 石膏ボードt-9) 目通し貼E P	3,050	25	反曲面黒板 (3600×1200)、背面黒板 (2700×900)、掃除用具入 ロッカー、教師用戸棚、OHPスクリーン、カーテンボックス (レール共)	普通教室			
		26	改修後	普通教室	既存のまま	既存のまま	既存のまま	100	26	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	26	既存のまま	既存のまま	既存のまま		26		普通教室			
		27							27					27					27					
		28	改修前	学習室	杉刈金ゴテ	フローリングブロック直貼工法t-15 O S V	木製 SOP	100	28	木下地組	合板目通し貼t-5.5 SOP	合板t-5.5下地、掲示クロス貼	吸音テックスt-9貼	28	L G S	木製SOP	穿孔石膏ボードt-9 (ｶﾞｰｸﾞｰ: 石膏ボードt-9) 目通し貼E P	3,050	28	反曲面黒板 (3600×1200)、背面黒板 (2700×900)、掃除用具入 ロッカー、教師用戸棚、OHPスクリーン、カーテンボックス (レール共)	学習室			
		29	改修後	学習室	既存のまま	既存のまま	既存のまま	100	29	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	29	既存のまま	既存のまま	既存のまま		29		学習室			
		30							30					30					30					
		31	改修前	活動室	杉刈金ゴテ	フローリングブロック直貼工法t-15 O S V	木製 SOP	100	31	木下地組	合板目通し貼t-5.5 SOP	合板t-5.5下地、掲示クロス貼	吸音テックスt-9貼	31	L G S	木製SOP	穿孔石膏ボードt-9 (ｶﾞｰｸﾞｰ: 石膏ボードt-9) 目通し貼E P	3,050	31	反曲面黒板 (3600×1200)、背面黒板 (2700×900)、掃除用具入 ロッカー、教師用戸棚、OHPスクリーン、カーテンボックス (レール共)	活動室			
		32	改修後	活動室	既存のまま	既存のまま	既存のまま	100	32	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	32	既存のまま	既存のまま	既存のまま		32		活動室			
		33							33					33					33					
		34	改修前							34					34					34				
		35	改修後							35					35					35				
		36								36					36					36				
1 階	37	改修前	被服教室	杉刈金ゴテ	フローリングブロック直貼工法t-15 O S V	木製 SOP	100	37	木下地組	合板目通し貼t-5.5 SOP	合板t-5.5下地、掲示クロス貼	吸音テックスt-9貼	37	L G S	木製SOP	穿孔石膏ボードt-9 (ｶﾞｰｸﾞｰ: 石膏ボードt-9) 目通し貼E P	3,050	37	反曲面黒板 (3600×1200)、背面黒板 (2700×900)、整理戸棚、アイロン台 流し台、OHPスクリーン、カーテンボックス (レール共)、カーテンレール 生使用被服台、教師用被服台	被服教室				
	38							38					38					38						
	39	改修後	被服教室	既存のまま	既存のまま	既存のまま	100	39	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	39	既存のまま	既存のまま	既存のまま		39		被服教室				
	40							40					40					40						
	41	改修前	被服準備室	杉刈金ゴテ	フローリングブロック直貼工法t-15 O S V	木製 SOP	100	41	木下地組	合板目通し貼t-5.5 SOP	合板t-5.5下地、掲示クロス貼	吸音テックスt-9貼	41	L G S	木製SOP	穿孔石膏ボードt-9 (ｶﾞｰｸﾞｰ: 石膏ボードt-9) 目通し貼E P	2,800	41	整理戸棚、カーテンボックス (レール共)、整理戸棚、掃除用具入	被服準備室				
	42	改修後	被服準備室	既存のまま	既存のまま	既存のまま	100	42	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	42	既存のまま	既存のまま	既存のまま		42		被服準備室				
	43							43					43					43						
	44	改修前	調理教室	杉刈金ゴテ	長尺塩ビシートt-2.8 配管ビット蓋: ビニル床タイルt-2[7x]	木製 SOP	100	44	木下地組	合板目通し貼t-5.5 SOP	合板t-5.5下地、掲示クロス貼	吸音テックスt-9貼	44	L G S	木製SOP	穿孔石膏ボードt-9 (ｶﾞｰｸﾞｰ: 石膏ボードt-9) 目通し貼E P	3,050	44	上下黒板 (3600×1800)、食器戸棚、配管ビット、ステンレス流し台、オープン台 洗濯機置場、OHPスクリーン、カーテンボックス (レール共) 生使用調理台、教師用調理台	調理教室				
	45							45					45					45						
	46	改修後	調理教室	既存のまま	既存のまま	既存のまま	100	46	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	46	既存のまま	既存のまま	既存のまま		46		調理教室				
	47							47					47					47						
	48	改修前	調理準備室	杉刈金ゴテ	長尺塩ビシートt-2.8	木製 SOP	100	48	木下地組	合板目通し貼t-5.5 SOP	合板t-5.5下地、掲示クロス貼	吸音テックスt-9貼	48	L G S	木製SOP	穿孔石膏ボードt-9 (ｶﾞｰｸﾞｰ: 石膏ボードt-9) 目通し貼E P	2,800	48	整理戸棚、スリッパ入れ、掃除用具入、カーテンボックス (レール共)	調理準備室				
	49	改修後	調理準備室	既存のまま	既存のまま	既存のまま	100	49	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	49	既存のまま	既存のまま	既存のまま	2,800	49		調理準備室				
	50							50					50					50						
	51	改修前	昇降口	杉刈金ゴテ	長尺塩ビシートt-2.0 (FL-100) ・100角磁器質タイル (FL-200)	テラソーブロック	100	51	コクリト	モルタル剛毛引の上、吹付タイル[7x]	同 左	同 左	51	L G S	木製SOP	吸音石膏ボードt-9 (ｶﾞｰｸﾞｰ: 石膏ボードt-9) 目通し貼E P	FL+2,650	51	下足箱、床排水溝 (亜鉛メッキグレーティング)	昇降口				
	52	改修後	昇降口	既存のまま	既存のまま	既存のまま	100	52	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	52	既存のまま	既存のまま	既存のまま		52		昇降口				
	53							53					53					53						
	54							54					54					54						
	55	改修前	用務員室	木組	タタミ敷き (FL+150)	タタミ寄せ	—	55	木下地組	石膏ボードt-12下地、 ビニルクロス貼 (ジュラク調)	同 左	同 左	55	L G S	木製SOP	化粧石膏ボードt-9 和天井目 目通し貼	2,350	55		用務員室				
	56	改修後	用務員室	既存のまま	既存のまま	既存のまま	—	56	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	56	既存のまま	既存のまま	既存のまま		56		用務員室				
	57							57					57					57						
	58							58					58					58						
	NOTE														工事名称 七戸中学校校舎改修工事 (建築Ⅰ期工事)				縮尺 ー 単位 MM		R 8 年 3 月 作製		図面名称 内部仕上表 (1)	
	【 特記 】 ・ [7x]: アスベスト含有建材を示す。														所 長 部 長 課 長 担 当 製 図 製 図				A ー 6		管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正			
	・木目調ビニル床シートt-2.8 (NO WAX品) : 田島: AC707木目28同等 ・通り: SF707NW同等														青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877				田中		田中			





内 部 仕 上 表																					
棟	階	室 名		床		巾 木		腰 壁		中 壁		上部壁		天 井				備 考		室 名	
				下 地	仕 上			下 地	仕 上					下 地	廻り縁	仕 上	天井高				
校 舎 棟	3 階	1	改修前	相談室	杉刈金ゴテ	フローリングブロック直貼工法t-15 O S V	木製 S O P	1 0 0	1	木下地組	合板目渡し貼t-5.5 S O P	合板t-5.5下地、揭示クロス貼	吸音テックスt-9貼	1	L G S	木製SOP	穿孔石膏ボードt-9（ｶﾞｰｸﾞｰ：石膏ボードt-9）目渡し貼E P	2,800 2,400	1	平面黒板（2700×900）、カーテンボックス（レール共）	相談室
		2	改修後	相談室	既存のまま	既存のまま	既存のまま	1 0 0	2	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	2	既存のまま	既存のまま	既存のまま		2		
		3							3					3					3		
		4	改修前	音楽準備室	杉刈金ゴテ	フローリングブロック直貼工法t-15 O S V	木製 S O P	1 0 0	4	木下地組	合板目渡し貼t-5.5 S O P	合板t-5.5下地、揭示クロス貼	吸音テックスt-9貼	4	L G S	木製SOP	穿孔石膏ボードt-9（ｶﾞｰｸﾞｰ：石膏ボードt-9）目渡し貼E P	2,800 2,400	4	整理戸棚、掃除用具入、カーテンボックス（レール共）、五線黒板（2700×900）	音楽準備室
		5	改修後	音楽準備室	既存のまま	既存のまま	既存のまま	1 0 0	5	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	5	既存のまま	既存のまま	既存のまま		5		
		6							6					6					6		
		7	改修前	音楽室	杉刈金ゴテ 銅製床組	フローリングブロック直貼工法t-15 O S V 合板t-12の上、フローリングブロック貼t-15 O S V（FL+180・360）	木製 S O P	1 0 0	7	木下地組	穿孔合板目渡し貼t-5.5 S O P （内部：無機質繊維吸音板t-50入り）	同 左	同 左	7	L G S	木製SOP	穿孔石膏ボードt-9（ｶﾞｰｸﾞｰ：石膏ボードt-9）目渡し貼E P	3,250-3,000 3,070-2,820 2,890-2,640	7	音楽用上下黒板（3600×1200）、整理戸棚 OHPスクリーン、カーテンボックス（レール共）	音楽室
		8							8					8					8		
		9	改修後	音楽室	既存のまま	既存のまま	既存のまま	1 0 0	9	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	9	既存のまま	既存のまま	既存のまま		9		
		10							10					10					10		
	11	改修前	ｺﾝﾋﾞｰﾅｰ室	杉刈金ゴテ	フローリングブロック直貼工法t-15 O S V 配線ビッド蓋：ビニル床タイルt-2[7A]	木製 S O P	1 0 0	11	木下地組	穿孔合板目渡し貼t-5.5 S O P （内部：無機質繊維吸音板t-50入り）	同 左	同 左	11	L G S	木製SOP	穿孔石膏ボードt-9（ｶﾞｰｸﾞｰ：石膏ボードt-9）目渡し貼E P	3,050	11	反曲面白板（3600×1200）、配線ビッド、カーテンボックス（レール共） OHPスクリーン	ｺﾝﾋﾞｰﾅｰ室	
	12	改修後	ｺﾝﾋﾞｰﾅｰ室	既存のまま	既存のまま	既存のまま	1 0 0	12	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	12	既存のまま	既存のまま	既存のまま		12			
	13								13					13					13		
	14								14					14					14		
	15	改修前	ｺﾝﾋﾞｰﾅｰ準備室	銅製床組 杉刈金ゴテ	合板t-12の上、フローリング貼t-15 塗装品（FL+360） 踏込み：ニードルパンチカーペット 配線ビッド蓋：ビニル床タイルt-2[7A]	木製 S O P	1 0 0	15	木下地組	穿孔合板目渡し貼t-5.5 S O P （内部：無機質繊維吸音板t-50入り）	同 左	同 左	15	L G S	木製SOP	穿孔石膏ボードt-9（ｶﾞｰｸﾞｰ：石膏ボードt-9）目渡し貼E P	3,050 2,690 2,290	15	整理戸棚、掃除用具入、カーテンボックス（レール共）	ｺﾝﾋﾞｰﾅｰ準備室	
	16								16					16					16		
	17	改修後	ｺﾝﾋﾞｰﾅｰ準備室	既存のまま	既存のまま	既存のまま	1 0 0	17	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	17	既存のまま	既存のまま	既存のまま		17			
	18								18					18					18		
	19								19					19					19		
	20	改修前	美術室	杉刈金ゴテ	フローリングブロック直貼工法t-15 O S V	木製 S O P	1 0 0	20	木下地組	合板目渡し貼t-5.5 S O P	合板t-5.5下地、揭示クロス貼	吸音テックスt-9貼	20	L G S	木製SOP	穿孔石膏ボードt-9（ｶﾞｰｸﾞｰ：石膏ボードt-9）目渡し貼E P	3,050	20	上下黒板（3600×1800）、展示戸棚、流し台、カーテンボックス（レール共） OHPスクリーンボックス 150×150×L3,300	美術室	
	21	改修後	美術室	既存のまま	既存のまま	既存のまま	1 0 0	21	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	21	既存のまま	既存のまま	既存のまま		21			
	22								22					22					22		
	23	改修前	美術準備室	杉刈金ゴテ	フローリングブロック直貼工法t-15 O S V	木製 S O P	1 0 0	23	木下地組	合板目渡し貼t-5.5 S O P	合板t-5.5下地、揭示クロス貼	吸音テックスt-9貼	23	L G S	木製SOP	穿孔石膏ボードt-9（ｶﾞｰｸﾞｰ：石膏ボードt-9）目渡し貼E P	2,800	23	整理戸棚、作品戸棚、流し台、掃除用具入、カーテンボックス（レール共）	美術準備室	
	24	改修後	美術準備室	既存のまま	既存のまま	既存のまま	1 0 0	24	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	24	既存のまま	既存のまま	既存のまま		24			
	25								25					25					25		
	26	改修前	楽器庫	杉刈金ゴテ	ビニル床タイルt-2	木製 S O P	1 0 0	26	木下地組	合板目渡し貼t-5.5 S O P	同 左	同 左	26	L G S	木製SOP	石膏ボードt-9 目渡し貼E P	2,500	26	整理棚、カーテンボックス（レール共）	楽器庫	
	27	改修後	楽器庫	既存のまま	既存のまま	既存のまま	1 0 0	27	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	27	既存のまま	既存のまま	既存のまま		27			
	28								28					28					28		
	29	改修前	音楽活動室	杉刈金ゴテ	フローリングブロック直貼工法t-15 O S V	木製 S O P	1 0 0	29	木下地組	合板目渡し貼t-5.5 S O P	合板t-5.5下地、揭示クロス貼	吸音テックスt-9貼	29	L G S	木製SOP	穿孔石膏ボードt-9（ｶﾞｰｸﾞｰ：石膏ボードt-9）目渡し貼E P	2,800	29	平面黒板（1800×900）、カーテンボックス（レール共）	音楽活動室	
	30	改修後	音楽活動室	既存のまま	既存のまま	既存のまま	1 0 0	30	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	30	既存のまま	既存のまま	既存のまま		30			
	31								31					31					31		
	32	改修前	教員室5	杉刈金ゴテ	ビニル床タイルt-2[7A]	木製 S O P	1 0 0	32	木下地組	合板目渡し貼t-5.5 S O P	同 左	同 左	32	L G S	塩ビ製	石膏ボードt-9 目渡し貼E P	2,400	32	更衣棚、カーテンボックス（レール共）	教員室5	
	33	改修後	教員室5	既存のまま	既存のまま	既存のまま	1 0 0	33	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	33	既存のまま	既存のまま	既存のまま		33			
	34								34					34					34		
	35	改修前							35					35					35		
	36	改修後							36					36					36		
	37								37					37					37		
	38	改修前	生徒会室	杉刈金ゴテ	フローリングブロック直貼工法t-15 O S V	木製 S O P	1 0 0	38	木下地組	合板目渡し貼t-5.5 S O P	合板t-5.5下地、揭示クロス貼	吸音テックスt-9貼	38	L G S	木製SOP	穿孔石膏ボードt-9（ｶﾞｰｸﾞｰ：石膏ボードt-9）目渡し貼E P	3,050	38	反曲面黒板（3600×1200）、背面黒板（2700×900）、ロッカー、掃除用具入 教師用戸棚、OHPスクリーン、カーテンボックス（レール共）	生徒会室	
	39	改修後	生徒会室	既存のまま	既存のまま	既存のまま	1 0 0	39	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	39	既存のまま	既存のまま	既存のまま		39			
	40								40					40					40		
	41	改修前	相談室	杉刈金ゴテ	フローリングブロック直貼工法t-15 O S V	木製 S O P	1 0 0	41	木下地組	合板目渡し貼t-5.5 S O P	合板t-5.5下地、揭示クロス貼	吸音テックスt-9貼	41	L G S	木製SOP	穿孔石膏ボードt-9（ｶﾞｰｸﾞｰ：石膏ボードt-9）目渡し貼E P	2,800	41	平面黒板（2700×900）、カーテンボックス（レール共）	相談室	
	42	改修後	相談室	既存のまま	既存のまま	既存のまま	1 0 0	42	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	42	既存のまま	既存のまま	既存のまま		42			
	43								43					43					43		
	44	改修前							44					44					44		
	45	改修後							45					45					45		
	46								46					46					46		
	47	改修前							47					47					47		
	48	改修後							48					48					48		
	49								49					49					49		
	50	改修前							50					50					50		
	51	改修後							51					51					51		
	52								52					52					52		
	53	改修前							53					53					53		
	54	改修後							54					54					54		
	55								55					55					55		
	56	改修前							56					56					56		
	57	改修後							57					57					57		
	58								58					58					58		

NOTE										工事名称 七戸中学校校舎改修工事（建築Ⅰ期工事）				縮尺 ー 単位 MM				R 8 年 3 月 作製		図面名称 内部仕上表（4）	
【 特記 】 ・ [7A]：アスベスト含有建材を示す。														所 長 部 長 課 長 担 当 製 図 製 図				A ー 9		管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正	
・木目調ビニル床シートt-2.8 (NO 4A品) ： 田島：AC207木目28同等 ・通り：SF207NW同等										青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017 (741) 6497 FAX 017 (742) 1877				田中 田中							



■ 石綿分析調査結果

番号	試験体採取箇所・仕上げ材	石綿含有の有無		備 考
		無し	有り	
1	機械室A 暖房機室 配管エルボ 水練り保温材	○		機械室Bも言う
2	校舎B 外部 外壁 仕上塗材①	○		機械室B、浄化槽上屋も言う
3	校舎B 外部 外壁 仕上塗材②	○		機械室B、浄化槽上屋も言う
4	校舎B 外部 打継目地コーキング	○		機械室B、浄化槽上屋も言う
5	校舎B 外部 開口部 コーキング	○		機械室B、浄化槽上屋も言う
6	校舎B 外部 屋上 アスファルト防水		○	
7	校舎B 玄関ポーチ 床 タイル下地	○		
8	校舎B 玄関ポーチ 靴洗場 テラゾ	○		
9	校舎B 1階 女子休憩更衣室 壁 石膏ボード+クロス	○		
10	校舎B 1階 女子休憩更衣室 天井 化粧石膏ボード（杉板）	○		
11	校舎B 1階 校長室 天井 岩綿吸音板	○		
12	校舎B 1階 校長室 壁 岩綿吸音板（ソラール）		○	校舎A・B棟共に、岩綿吸音板（ソラール）は含有として扱う
13	校舎B 1階 階段室 床 Pタイル（接着材は含有無し）		○	校舎B棟のPタイルは全て言う
14	校舎B 1階 階段室 ササラ テラゾ	○		
15	校舎B 2階 進路相談室 壁 石膏ボード+クロス	○		
16	校舎B 3階 廊下 天井 有孔石膏ボード	○		
17	校舎B 3階 廊下 天井 石膏ボード	○		
18	校舎A 外部 外壁 仕上塗材①（下地調整材に含有）		○	機械室Aも言う
19	校舎A 外部 外壁 仕上塗材②（下地調整材に含有）		○	機械室Aも言う
20	校舎A 外部 打継目地コーキング	○		機械室Aも言う
21	校舎A 外部 開口部 コーキング	○		機械室Aも言う
22	校舎A 外部 屋上 アスファルトルーフィング		○	校舎Bも含め、出入口庇は全て言う
23	校舎A 外部 屋上 アスファルト防水		○	
24	校舎A 玄関ポーチ 床 タイル下地	○		
25	校舎A 玄関ポーチ 靴洗場 テラゾ	○		
26	校舎A 1階 用務員室 壁 ラスボードじゅらく	○		
27	校舎A 1階 階段室 床 Pタイル（接着材は含有無し）		○	校舎A棟のPタイルは全て言う
28	校舎A 1階 階段室 ササラ テラゾ	○		
29	校舎A 2階 体育館渡り廊下 床 Pタイル	○		
30	校舎A 3階 配膳室 床 長尺シート	○		
31	校舎A 3階 廊下 天井 有孔石膏ボード	○		
32	校舎A 3階 廊下 天井 石膏ボード	○		

※ 建設年度より含有が疑わしい建材について調査を行った。含有ありと判定された建材は採取室以外の建物全体に適用する。

※ 特記： 照明器具及び、キュービクルへのPCB含有は無し。（聞き取り）  
但し、上記以外でPCB含有の恐れのある物は、調査を行うこと。

■ 石綿含有みなし建材

箇所・仕上げ材	石綿含有の有無		備 考
	無し	有り	
機械室A 暖房機室 煙道 フランジパッキン		○	
機械室A 暖房機室 配管 フランジパッキン		○	
機械室A 暖房機室 煙突 ハイスタック	○		H27年報告書より 含有無し
機械室B 暖房機室 煙道 フランジパッキン		○	
機械室B 暖房機室 配管 フランジパッキン		○	
機械室B 暖房機室 煙突 ハイスタック	○		H27年報告書より 含有無し
浄化槽 浄化槽室 配管 フランジパッキン		○	
校舎A 調理室 ダクト フランジパッキン		○	
校舎A 壁 吸音テックス	○		木質系は含有無し
校舎B 消火栓ポンプ室 ダクト フランジパッキン		○	
校舎B 壁 吸音テックス	○		木質系は含有無し
体育館渡り廊下 壁 石綿セメント板		○	
体育館渡り廊下 天井 石綿セメント板		○	

NOTE

工事名称 七戸中学校校舎改修工事（建築Ⅰ期工事）

縮尺 ー 単位 MM

R8 年 3 月 作製

図面名称 アスベスト含有建材一覧表

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所

TEL 017 (741) 6497  
FAX 017 (742) 1877

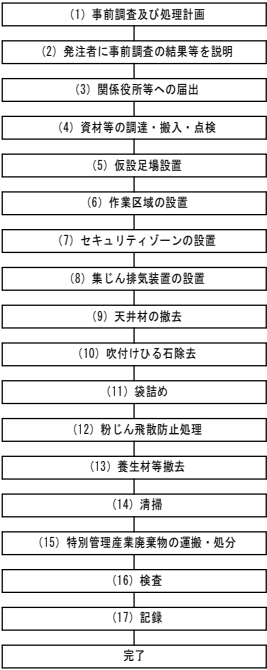
田中

田中

A ー 10

管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正

アスベスト含有 レベル1（労基への届出は必要）  
石綿含有吹付け材（吹付けひる石 等）



- (1) 事前調査及び処理計画  
事前調査と処理計画及び処理計画書等を作成する。
- (2) 発注者に事前調査の結果等を説明  
事前調査結果と届け出内容を発注者へ説明する。
- (3) 関係役所等への届出  
関係役所等に処理工事の届出を行う。
- (4) 資材等の調達・搬入・点検  
①安全衛生設備を調達し、事前に点検をする。  
②防護服、呼吸用保護具は国家検定等計画書に基づく作業レベルに応じたものを  
予定作業者数より多くの数を準備し、フィルター及び交換備品の確認、点検を実施する。  
③使用資材、機材、安全衛生設備等は一時保管場所へ搬入する。  
④アスベスト処理作業中である事等の標識は、作業場内外からも周辺住民の見易い所に表示する。  
事前調査結果は関係作業者のみならず、周辺住民にも見易い場所へ石綿規則第3条  
の規定等を提示する。  
⑤処理作業現場外に休憩所を設置する。  
夏期作業時には飲料水と塩を用意し、熱中症にも配慮する。
- (5) 仮設足場設置  
天井下に移動式足場を設置する。
- (6) 作業区域の隔離養生  
壁面は厚み0.10mmのポリエチレンシートを張り、  
床面は厚み0.15mmのポリエチレンシートを2枚張りつける。  
ポリエチレンシートの端末部は粘着テープ等で固定をする。
- (7) セキュリティゾーンの設置  
セキュリティゾーン（更衣室・洗身室・前室）を設置し除去作業区域に隔離通路によって接続する。  
出入口及び各室間はポリエチレンシートによりカーテンを設置する。
- (8) 集じん排気装置の設置  
石綿繊維が99.97%以上の捕集効率のあるHEPAフィルター（高性能微粒子フィルター）を  
装備しての機種を隔離養生内に設置する。
- (9) 天井材の撤去  
天井材をバール等で撤去する。
- (10) 吹付けひる石除去  
粉じん飛散抑制剤を吹付け後、スクレーパー、ブラシ等で除去する。  
区域内のアスベスト粉じん濃度低減の為、必要に応じて気中にもスプレーをする。
- (11) 袋詰め  
アスベスト専用黄色ポリエチレン袋に入れた後、透明ポリエチレン袋に入れ二重密封する。
- (12) 粉じん飛散防止処理  
作業区域内を一旦清掃し、除去面及び隔離養生材に、  
粉じん飛散防止剤をエアレススプレーヤーで吹付けする。 その際、気中にも散布する。
- (13) 養生材等撤去  
壁面、床面の順に養生撤去し、隔離区域を解除する。養生ポリエチレンシートは、  
汚染面が内側になるように折りたたみ、ポリ袋で二重密封する。
- (14) 清掃  
床面をHEPAフィルター付掃除機等で念入りに清掃する。

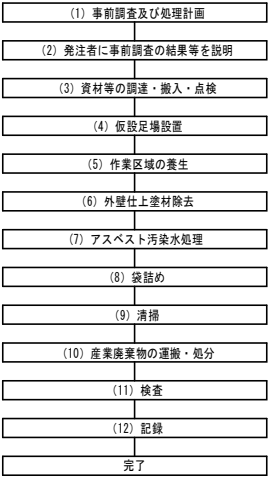
- (15) 特別管理産業廃棄物の運搬・処分  
①石綿廃棄物は、仮保管庫に集積し収集運搬日まで  
特別管理産業廃棄物管理責任者の管理元で保管する。  
②収集運搬車両には他の廃棄物と混載せず、最終処分場には直行する。  
落下防止の処置を行うとともに盗難にも注意を払う。  
ポリ袋の開封は絶対行わず、破れ等が生じた時は、速やかにテープ等で補修し、  
新たにポリ袋に二重密封する。廃棄物はポリ袋に入ったまま開封せずに埋立処分する。
- (16) 検査  
工事記録を作成するとともに、発注者等に工事完了報告をして、完成検査を受ける。

アスベスト含有 レベル2（労基への届出は必要）  
石綿含有保温材、耐火被覆材、断熱材（配管エルボ保温材 等）

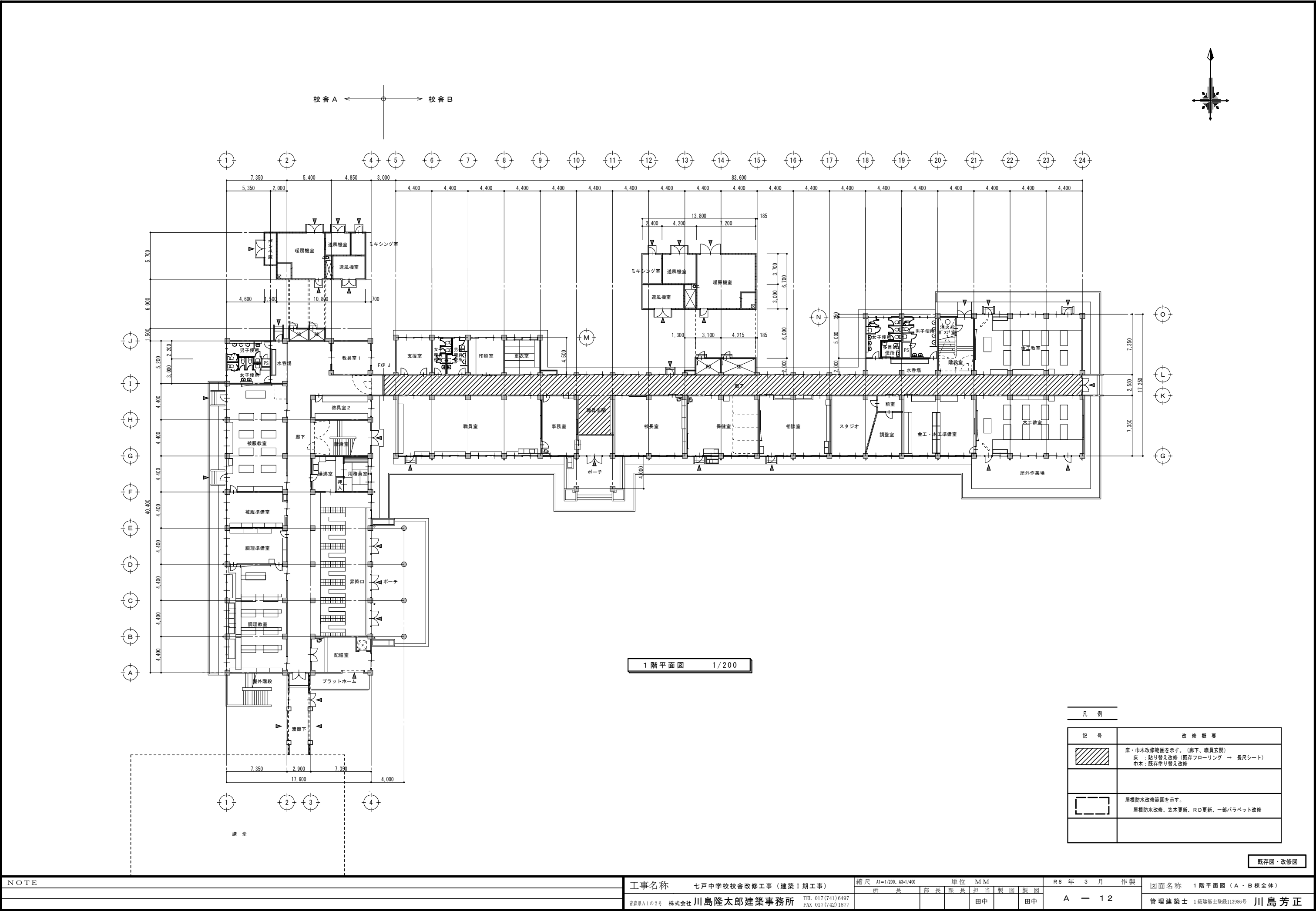


- (1) 事前調査及び処理計画  
事前調査と処理計画及び処理計画書等を作成する。
- (2) 発注者に事前調査の結果等を説明  
事前調査結果と届け出内容を発注者へ説明する。
- (3) 資材等の調達・搬入・点検  
①安全衛生設備を調達し、事前に点検をする。  
②防護服、呼吸用保護具は国家検定等計画書に基づく作業レベルに応じたものを  
予定作業者数より多くの数を準備し、フィルター及び交換備品の確認、点検を実施する。  
③使用資材、機材、安全衛生設備等は一時保管場所へ搬入する。  
④アスベスト処理作業中である事等の標識は、作業場内外からも周辺住民の見易い所に表示する。  
事前調査結果は関係作業者のみならず、周辺住民にも見易い場所へ石綿規則第3条の規定等を提示する。  
⑤処理作業現場外に休憩所を設置する。  
夏期作業時には飲料水と塩を用意し、熱中症にも配慮する。
- (4) 仮設足場（立ち馬等の設置）  
配管下に立ち馬等を設置する。
- (5) 配管エルボ保温材の切断  
非石綿含有部分をセーバーソーで切断する。
- (6) 袋詰め  
撤去した配管エルボをアスベスト専用黄いろポリエチレン袋と透明ポリエチレン袋に入れ二重密封する。
- (7) 清掃  
床面をHEPAフィルター付掃除機等で念入りに清掃する。
- (8) 特別管理産業廃棄物の運搬・処分  
①石綿廃棄物は、仮保管庫に集積し収集運搬日まで特別管理産業廃棄物管理責任者の管理元で保管する。  
②収集運搬車両には他の廃棄物と混載せず、最終処分場には直行する。  
また、落下防止の処置を行うとともに盗難にも注意を払う。  
ポリ袋の開封は絶対行わず、破れ等が生じた時は、速やかにテープ等で補修し、  
新たにポリ袋に密封する。廃棄物はポリ袋に入ったまま開封せずに埋立処分する。
- (9) 検査  
工事記録を作成するとともに、発注者等に工事完了報告をして、完成検査を受ける。
- (10) 記録  
作業者記録、作業等記録は、石綿障害予防規則 第35条により40年間保存する。

アスベスト含有 レベル3（計画書届出不要）  
その他の石綿含有建材（成形板等）



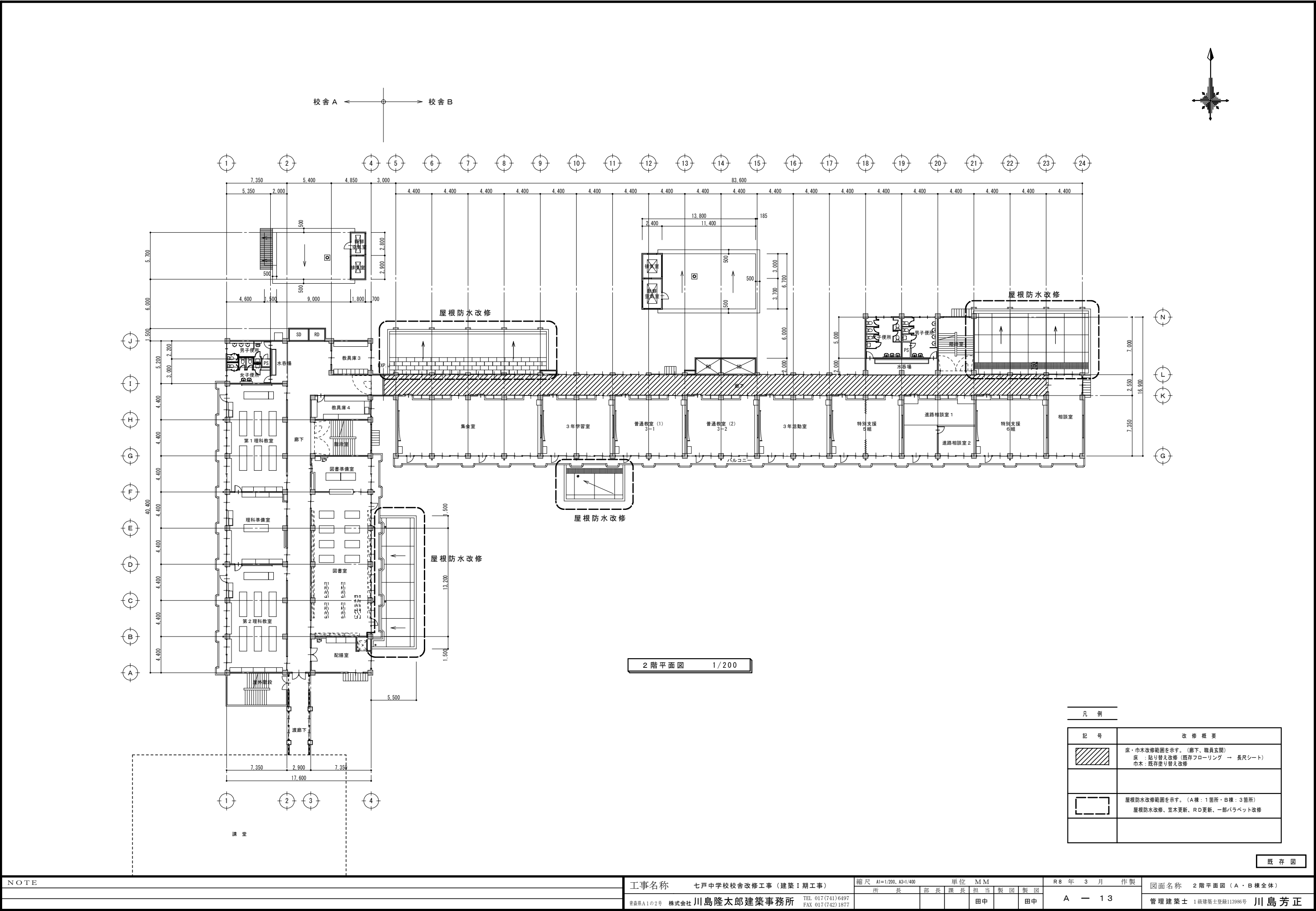
- (1) 事前調査及び処理計画  
事前調査と処理計画及び処理計画書等を作成する。
- (2) 発注者に事前調査の結果等を説明  
事前調査結果と届け出内容を発注者へ説明する。
- (3) 資材等の調達・搬入・点検  
①安全衛生設備を調達し、事前に点検をする。  
②防護服、呼吸用保護具は国家検定等計画書に基づく作業レベルに応じたものを  
予定作業者数より多くの数を準備し、フィルター及び交換備品の確認、点検を実施する。  
③使用資材、機材、安全衛生設備等は一時保管場所へ搬入する。  
④アスベスト処理作業中である事等の標識は、作業場内外からも周辺住民の見易い所に表示する。  
事前調査結果は関係作業者のみならず、周辺住民にも見易い場所へ石綿規則第3条の規定等を提示する。  
⑤処理作業現場外に休憩所を設置する。  
夏期作業時には飲料水と塩を用意し、熱中症にも配慮する。
- (4) 仮設足場設置  
外壁に枠組み足場を設置する。枠組み足場と外壁の間は900mm程度空け、  
中間にブラケット足場を設置する。また、枠組み足場周囲は防災シートを張る。
- (5) 作業区域の養生  
壁面及び天井面は、厚み0.10mmのポリエチレンシートで1枚張りとする。  
床面は厚み0.8mmの加硫ゴム系防水シートで1枚張りとする。
- (6) 外壁仕上塗材除去  
超高压水により専用除去装置を用いて外壁下地調整塗材の切削洗浄除去を実施する。
- (7) アスベスト汚染水処理  
貯留槽に溜めた汚染水を膜ろ過処理しアスベストと水とを分離させ、水を側溝等に放流する。
- (8) 袋詰め  
貯留槽に沈殿したアスベストは、アスベスト廃棄用透明ポリ袋で二重密封する。
- (9) 清掃  
床面をHEPAフィルター付掃除機等で念入りに清掃する。
- (10) 産業廃棄物の運搬・処分  
①石綿廃棄物は、仮保管場所に集積し収集運搬日まで保管する。  
②収集運搬車両は最終処分場又は積み替え保管場所まで直行する。  
また、落下防止の処置を行うとともに盗難にも注意を払う。  
ポリ袋の開封は絶対行わず、破れ等が生じた時は、速やかにテープ等で補修し、  
新たにポリ袋に密封する。廃棄物はポリ袋に入ったまま開封せずに埋立処分する。
- (11) 検査  
工事記録を作成するとともに、発注者等に工事完了報告をして、完成検査を受ける。
- (12) 記録  
作業者記録、作業等記録は、石綿障害予防規則 第35条により40年間保存する。

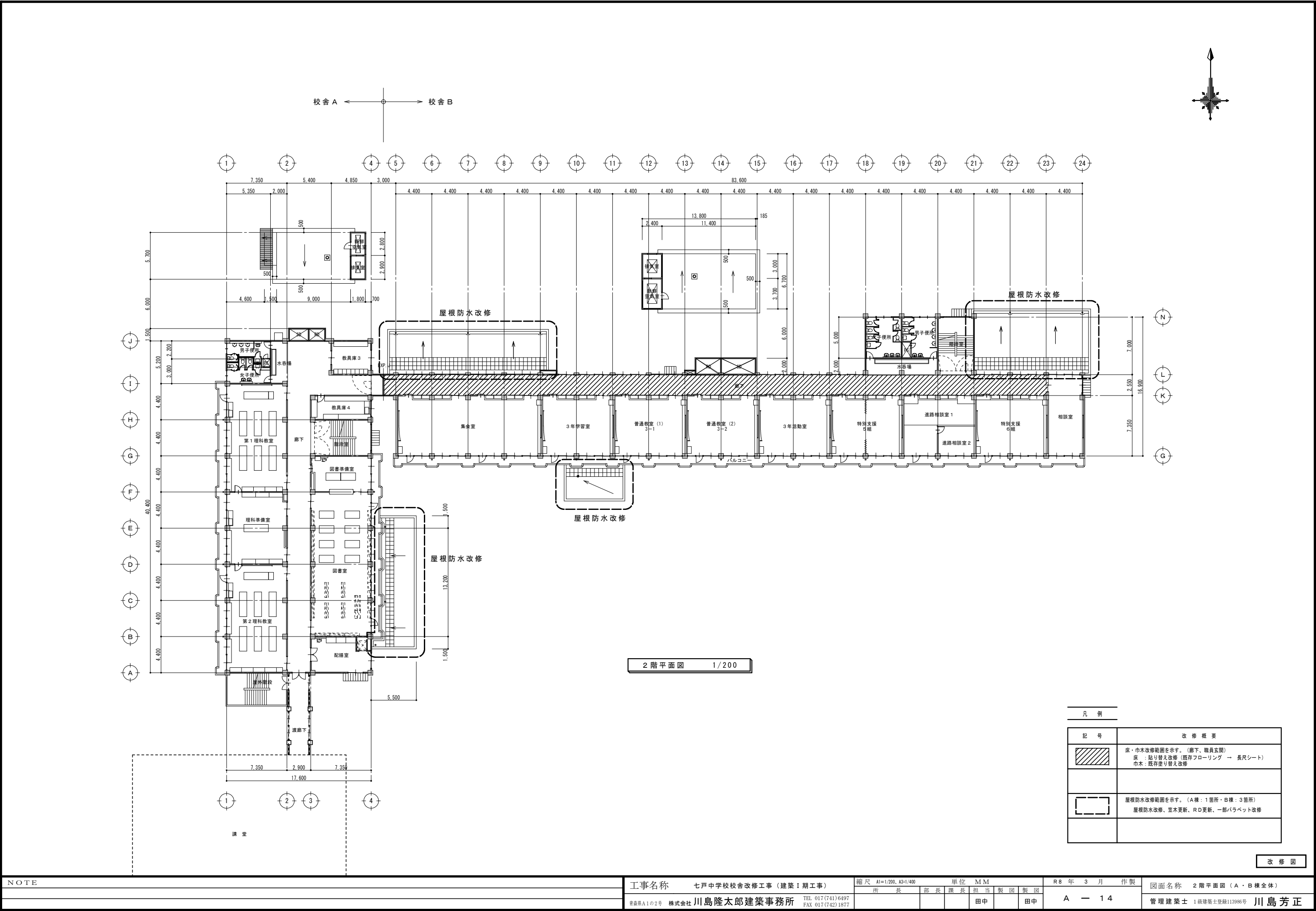


凡 例	
記 号	改 修 概 要
	床・巾木改修範囲を示す。(廊下、職員玄関) 床 : 貼り替え改修 (既存フローリング → 長尺シート) 巾木 : 既存塗り替え改修
	屋根防水改修範囲を示す。 屋根防水改修、笠木更新、RD更新、一部バラベツ改修

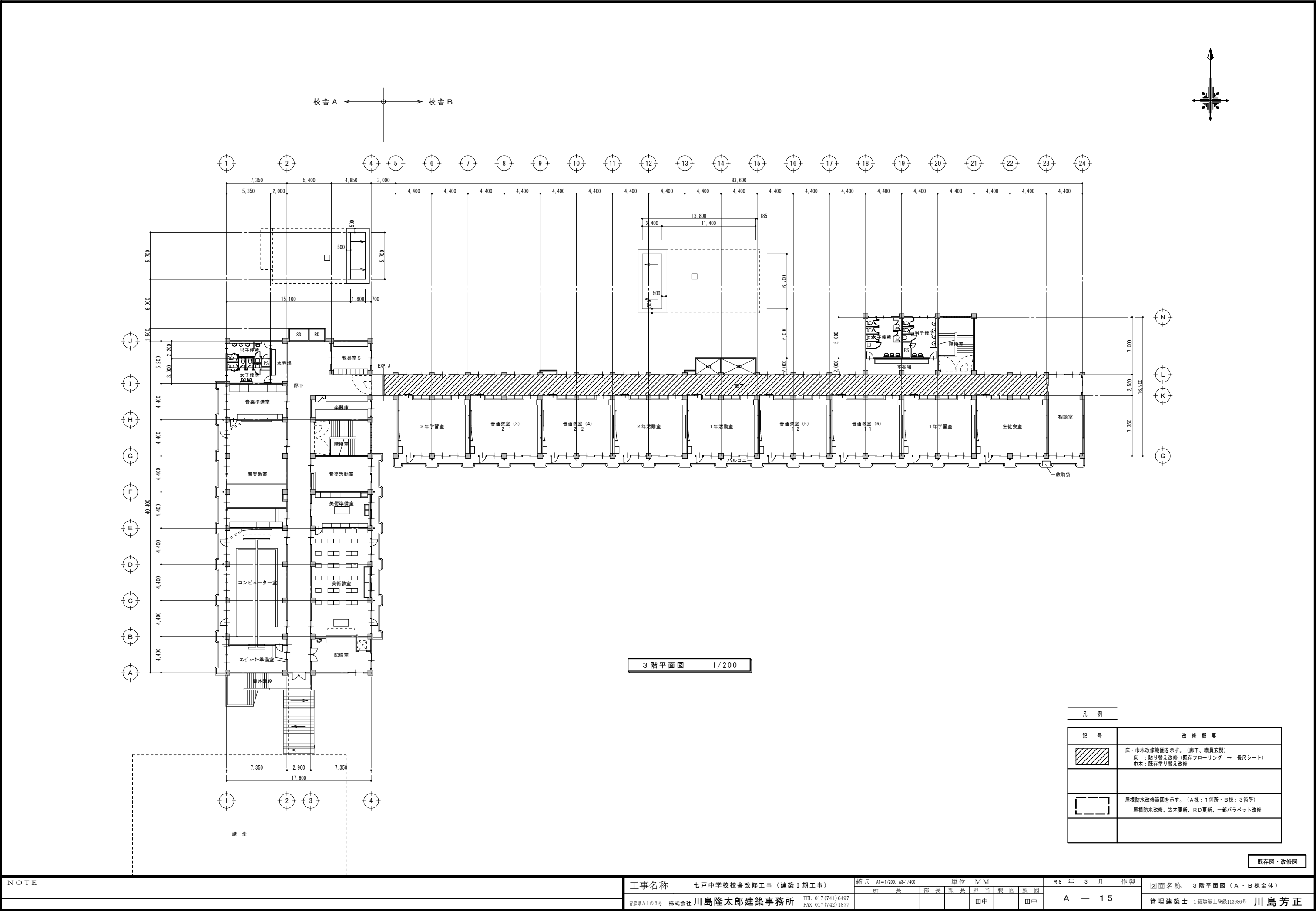
既存図・改修図

NOTE	工事名称 七戸中学校校舎改修工事（建築Ⅰ期工事）	縮尺 A1=1/200, A3=1/400						単位 MM		R 8 年 3 月 作製		図面名称 1 階平面図（A・B 棟全体）
		所 長		部 長	課 長	担 当	製 図	製 図	A — 1 2			
		青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877				田中		田中				
管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正												

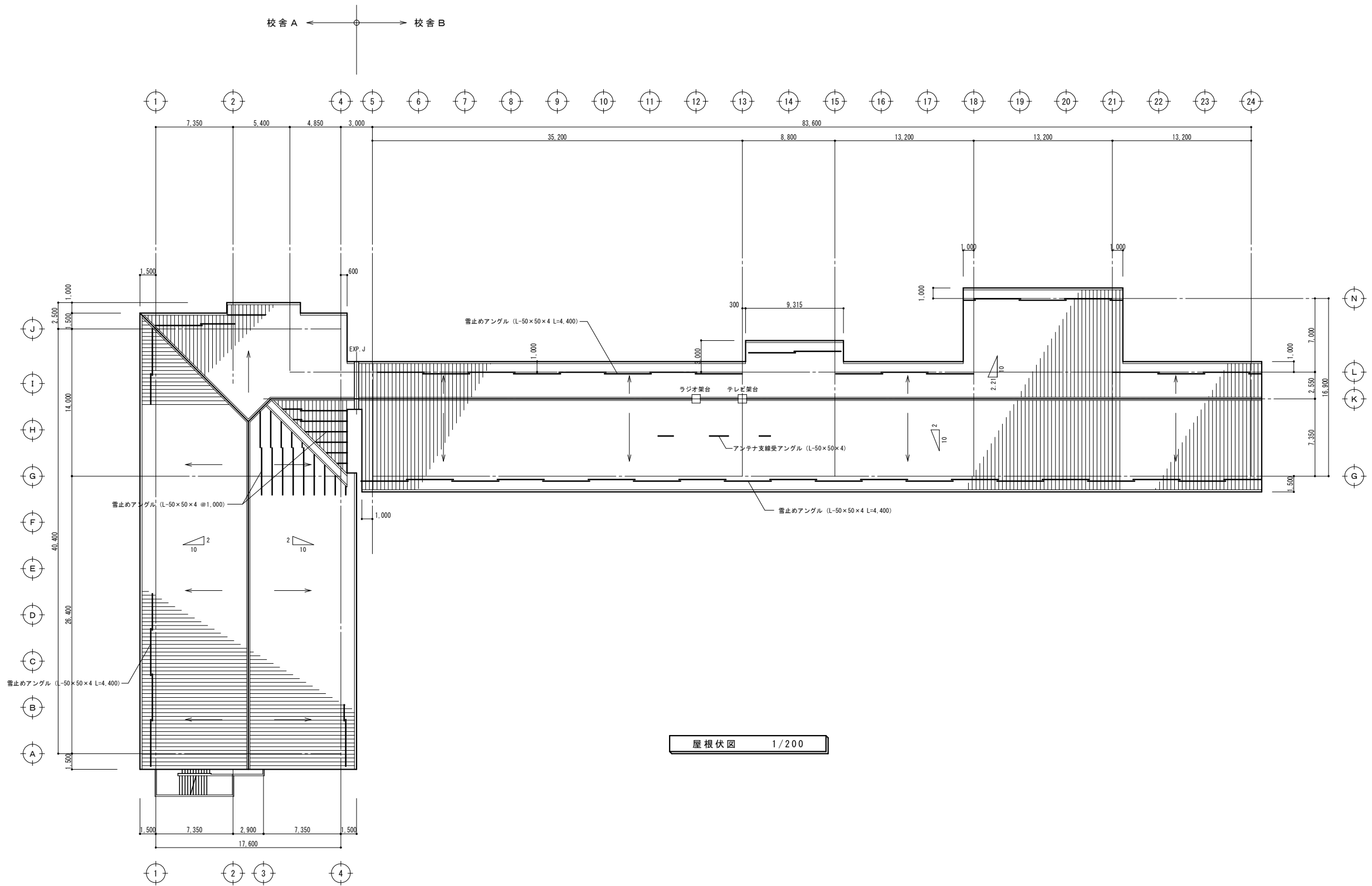




NOTE	工事名称 七戸中学校校舎改修工事（建築Ⅰ期工事） 青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017 (741) 6497 FAX 017 (742) 1877	縮尺 A1=1/200, A3=1/400 所 長 部 長 課 長 担 当 製 図 製 図 田中 田中	単位 MM R 8 年 3 月 作 製 A — 1 4	図面名称 2 階平面図（A・B棟全体） 管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正

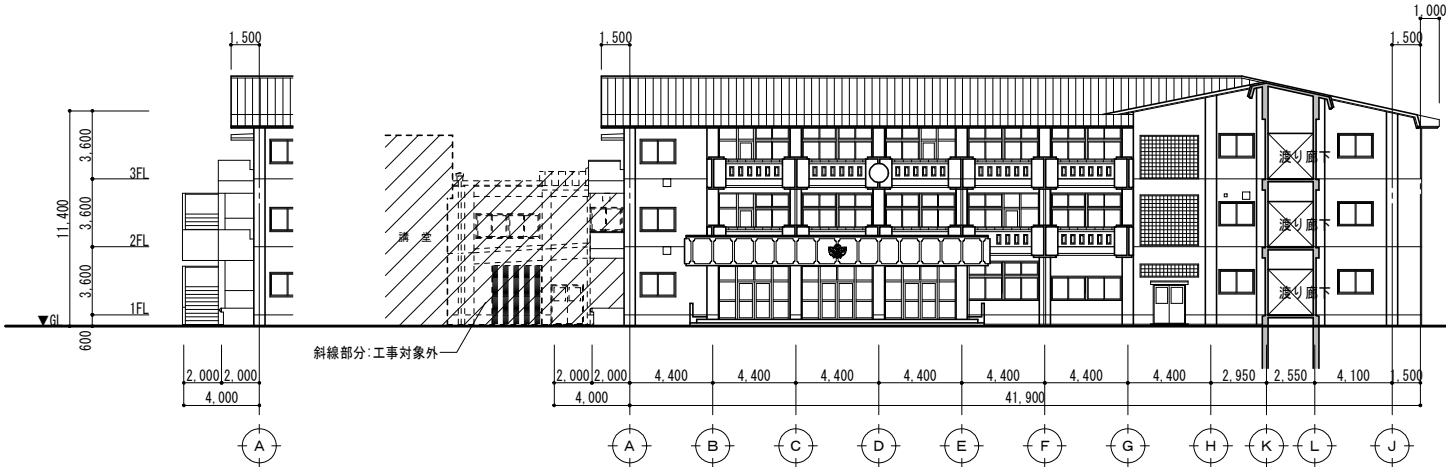


NOTE	工事名称	七戸中学校校舎改修工事（建築Ⅰ期工事）		縮尺 A1=1/200, A3=1/400				単位 MM		R 8 年 3 月 作製		図面名称	3 階平面図（A・B 棟全体）	
				所 長	部 長	課 長	担 当	製 図	製 図	A — 1 5				
							田中		田中					
		青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所	TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877										管理建築士 1級建築士登録113986号	川島芳正

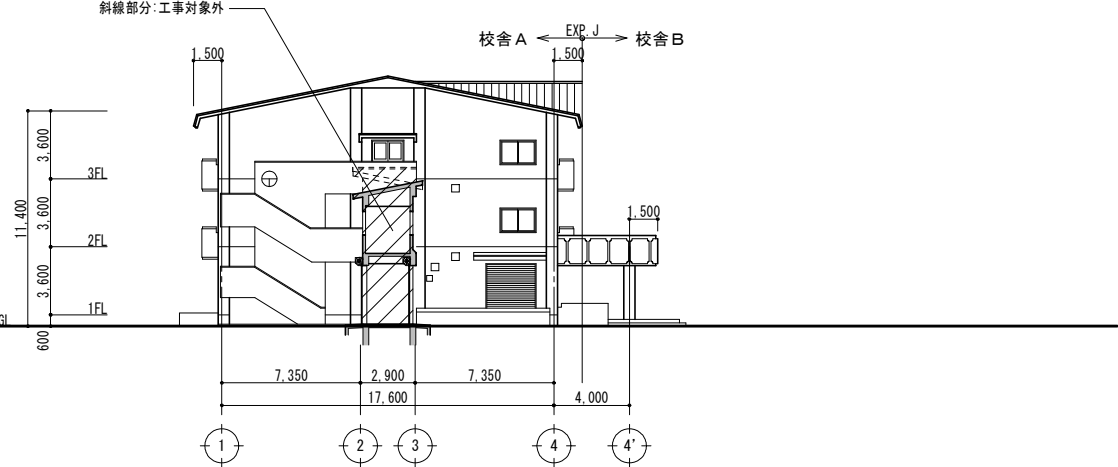


屋根伏図 1/200

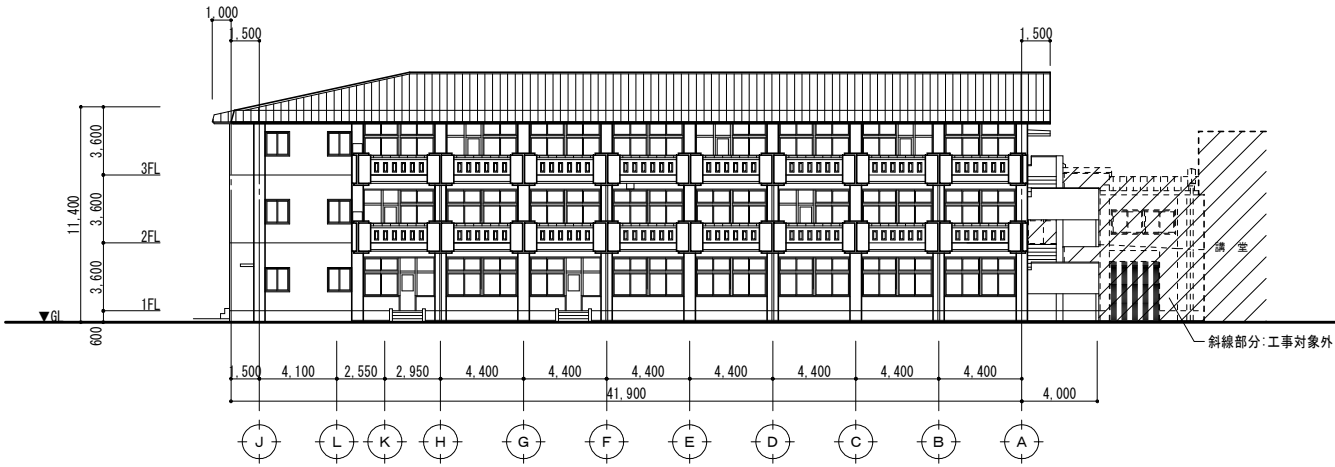
NOTE	工事名称 七戸中学校校舎改修工事（建築Ⅰ期工事） 青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所	縮尺 A1=1/200, A3=1/400	単位 MM	R 8 年 3 月 作製				図面名称 屋根伏図（A・B棟全体） 管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正
				所 長	部 長	課 長	担 当	
							田中	



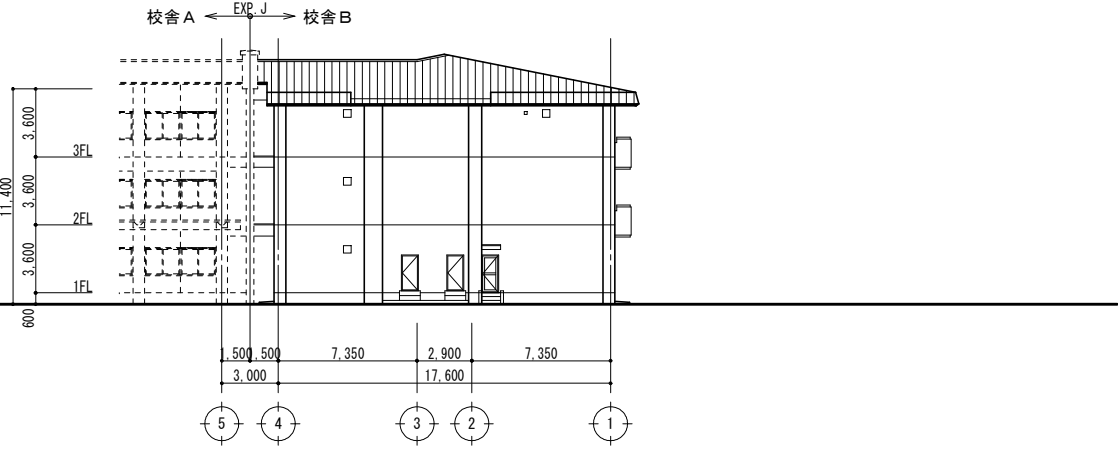
校舎A 東面立面図 1/200



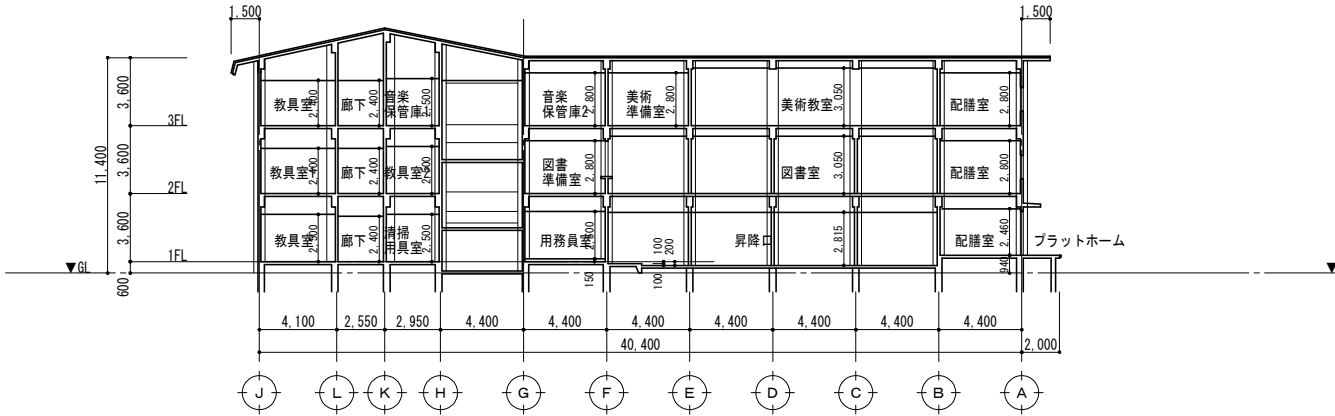
校舎A 南面立面図 1/200



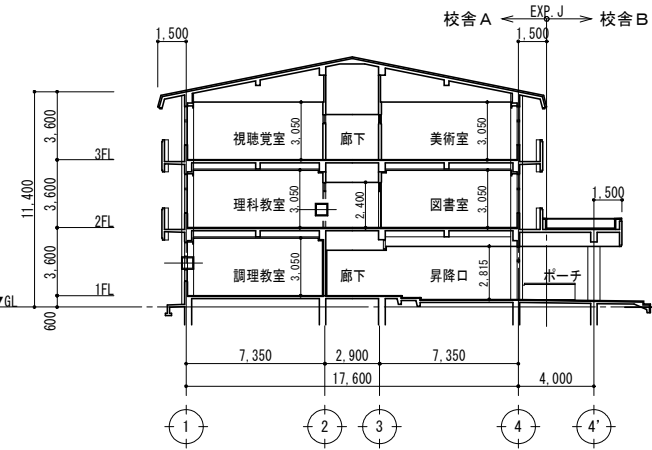
校舎A 西面立面図 1/200



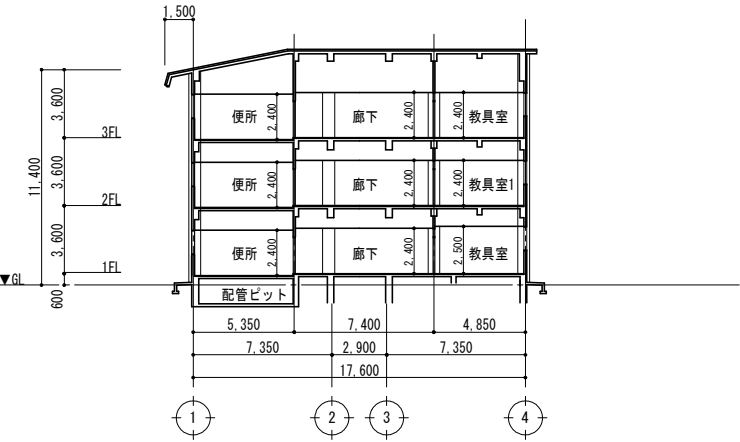
校舎A 北面立面図 1/200



校舎A 断面図 1/200



校舎A 断面図 1/200



校舎A 断面図 1/200

NOTE

工事名称 七戸中学校校舎改修工事（建築Ⅰ期工事）

縮尺 A1=1/200, A3=1/400

単位 MM

R8 年 3 月 作製

図面名称 立面図・断面図（A棟）

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所

TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877

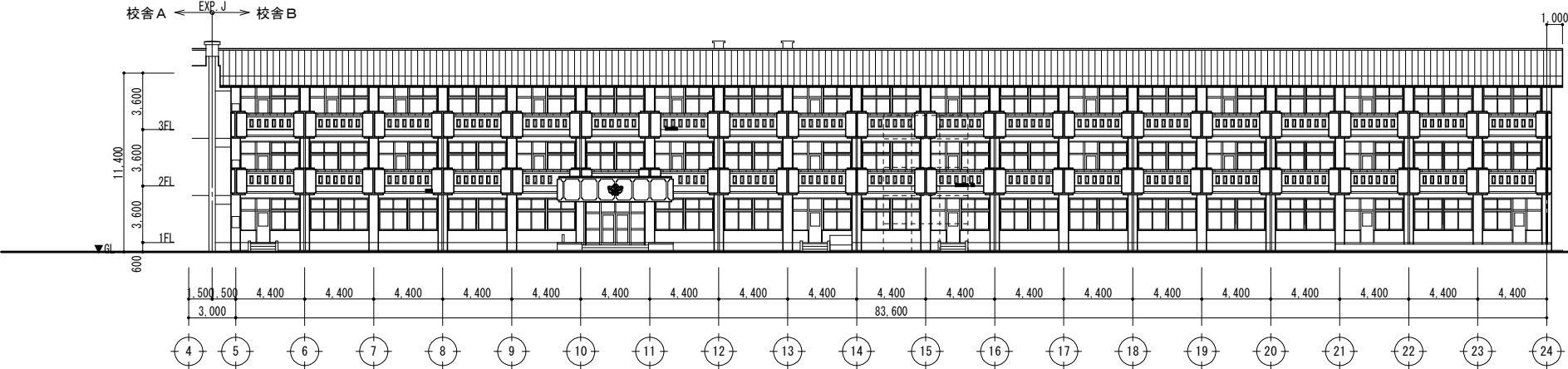
田中

田中

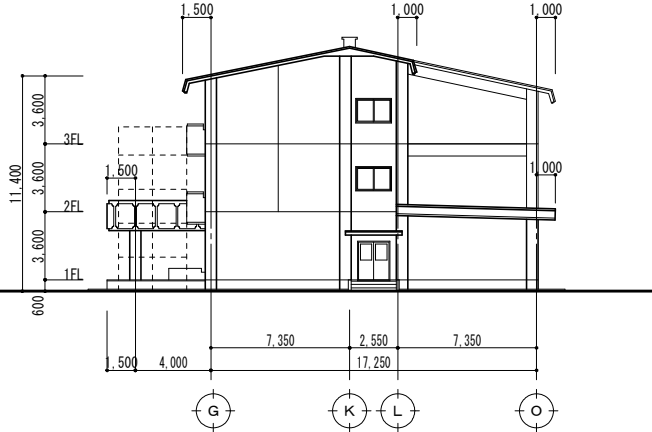
A - 17

管理建築士 1級建築士登録113985号 川島芳正

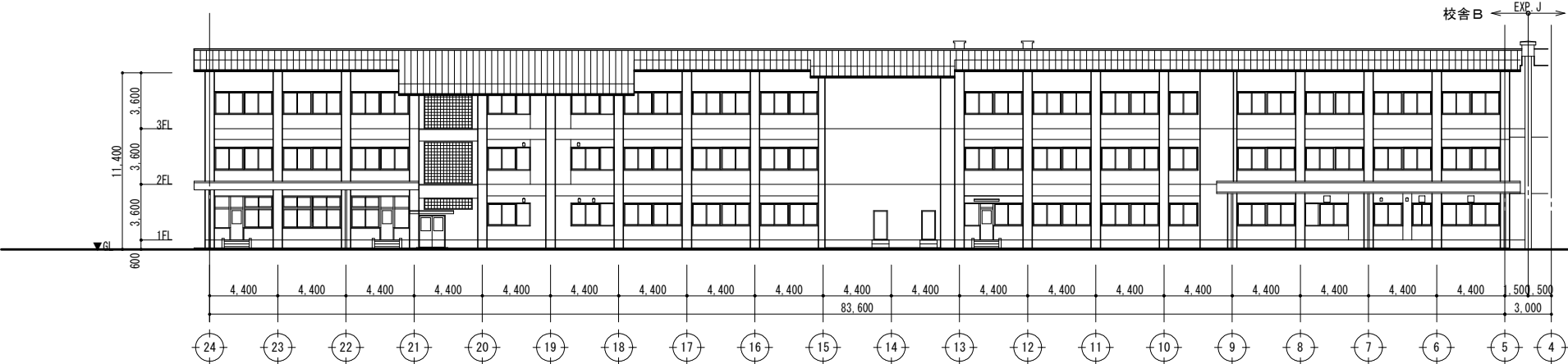




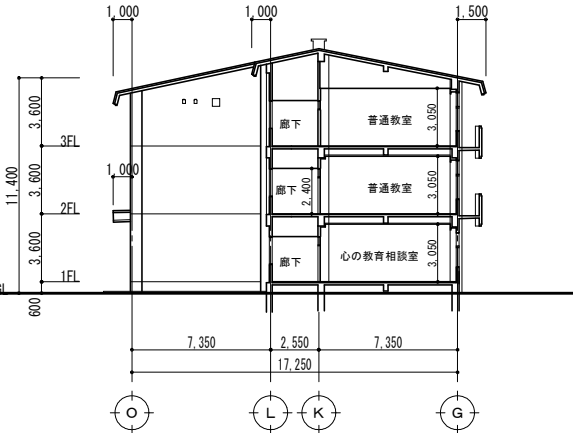
校舎B 南面立面図 1/200



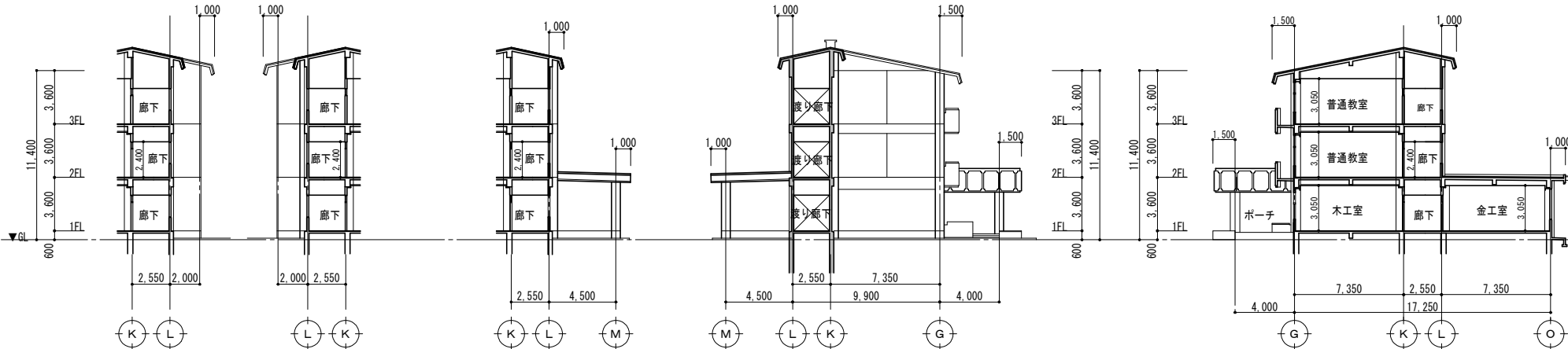
校舎B 東面立面図 1/200



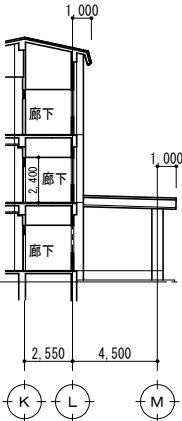
校舎B 東面立面図 1/200



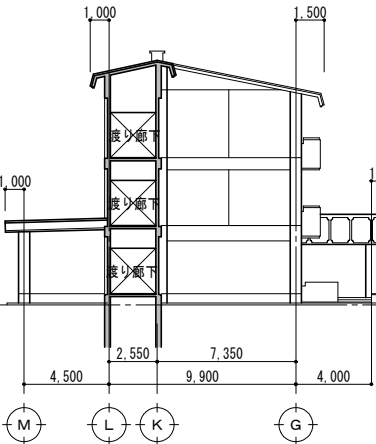
校舎B 18通り立面図 1/200



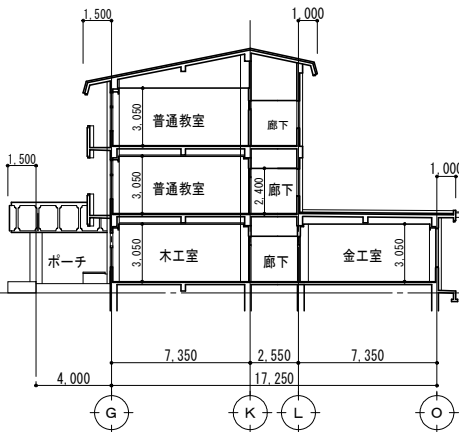
校舎B 15.13通り立面図 1/200



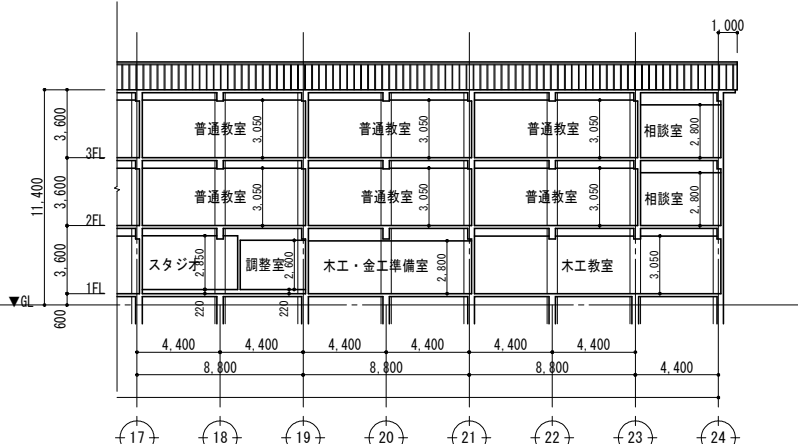
校舎B 9通り立面図 1/200



校舎B 西面立面図 1/200



校舎B 断面図 1/200



校舎B 断面図 1/200

NOTE

工事名称 七戸中学校校舎改修工事（建築Ⅰ期工事）

縮尺 A1=1/200, A3=1/400

単位 MM

R8 年 3 月 作製

図面名称 立面図・断面図（B棟）

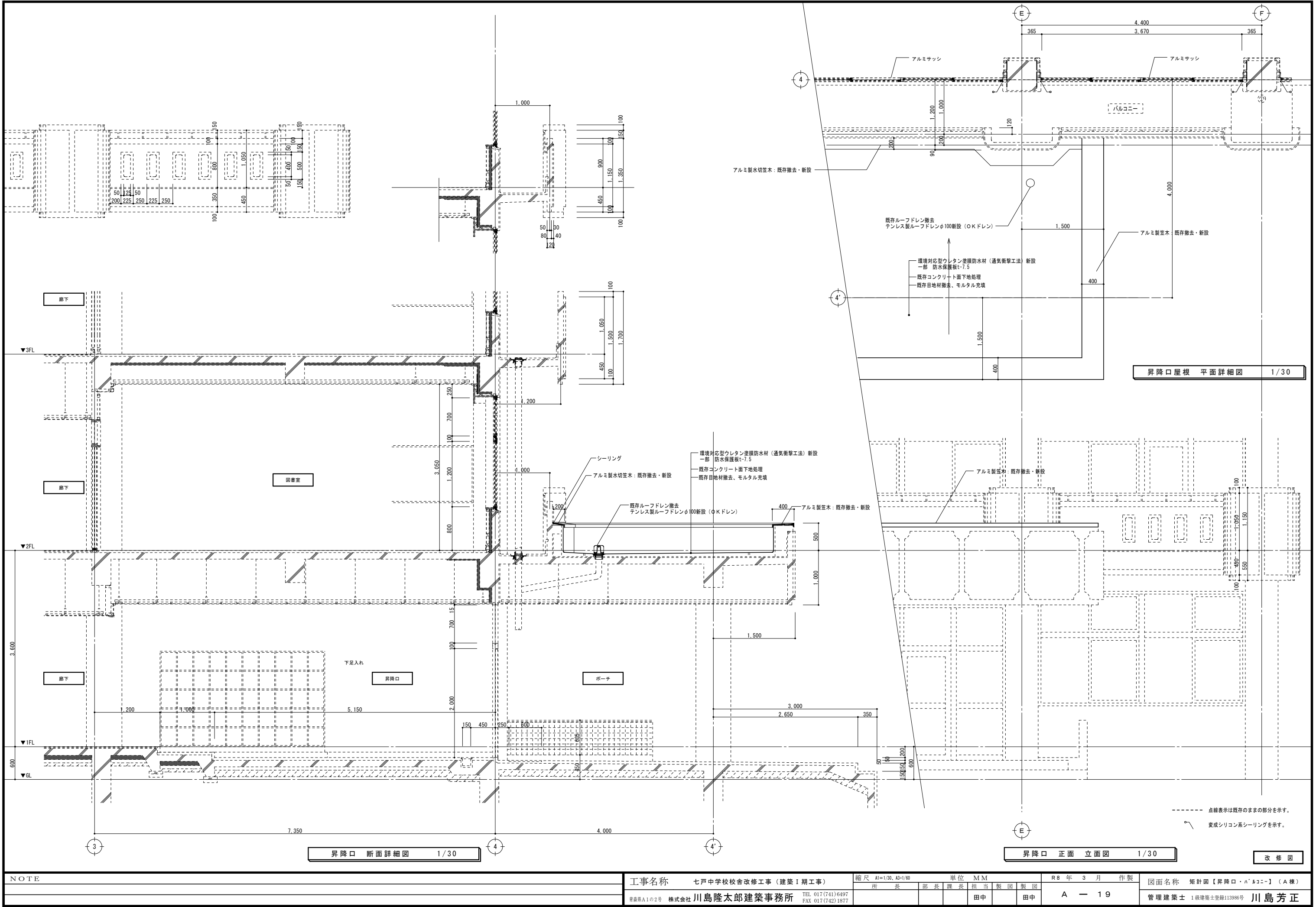
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所

TEL 017(741)6497  
FAX 017(742)1877

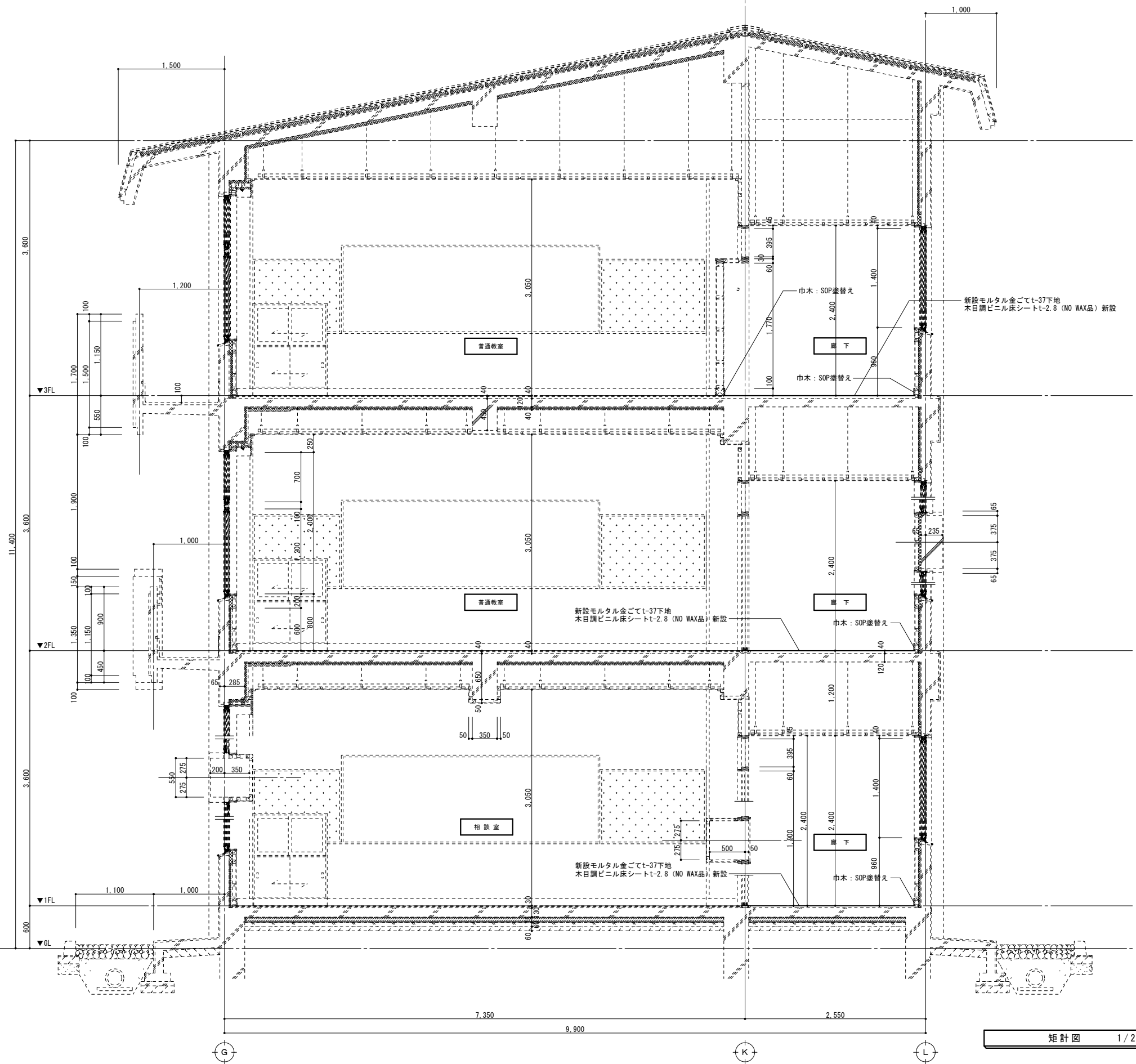
田中 田中

A 18

管理建築士 1級建築士登録113985号 川島芳正



NOTE	工事名称	七戸中学校校舎改修工事（建築Ⅰ期工事）	縮尺	A1=1/30, A3=1/60	単位	MM	R 8 年 3 月 作製	図面名称	矩計図【昇降口・バルコニー】（A棟）
	所長	部長	課長	担当	製図	製図	A — 19	管理建築士	1級建築士登録113985号
	青森県A1の2号	株式会社	川島隆太郎建築事務所	TEL 017(741)6497	FAX 017(742)1877	田中	田中	川島芳正	

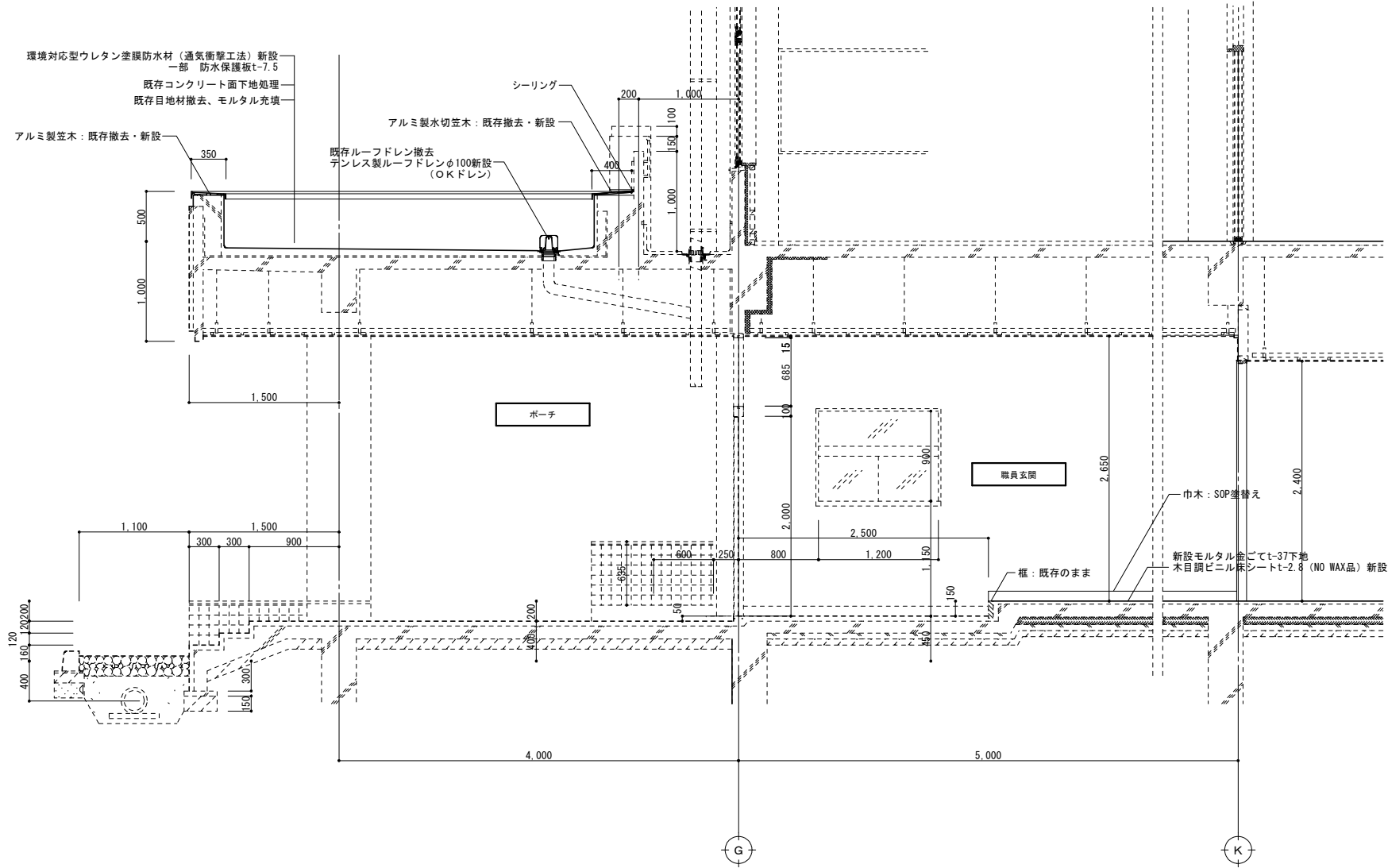


----- 点線表示は既存のままの部分を示す。  
〰 変成シリコン系シーリングを示す。

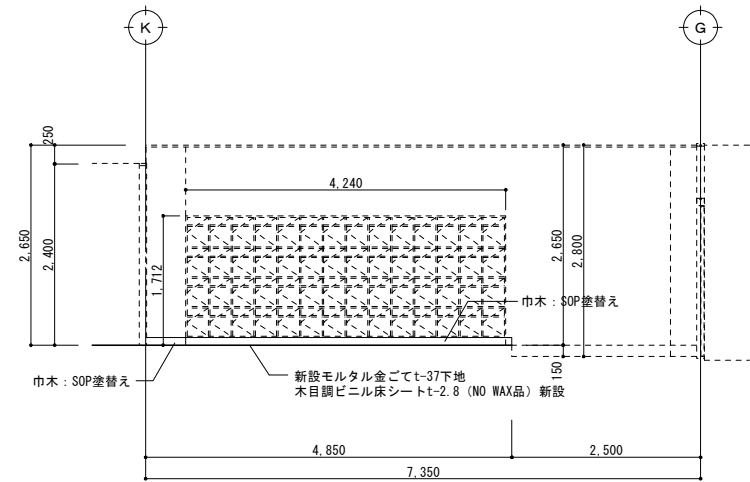
矩計図 1/20

改 修 図

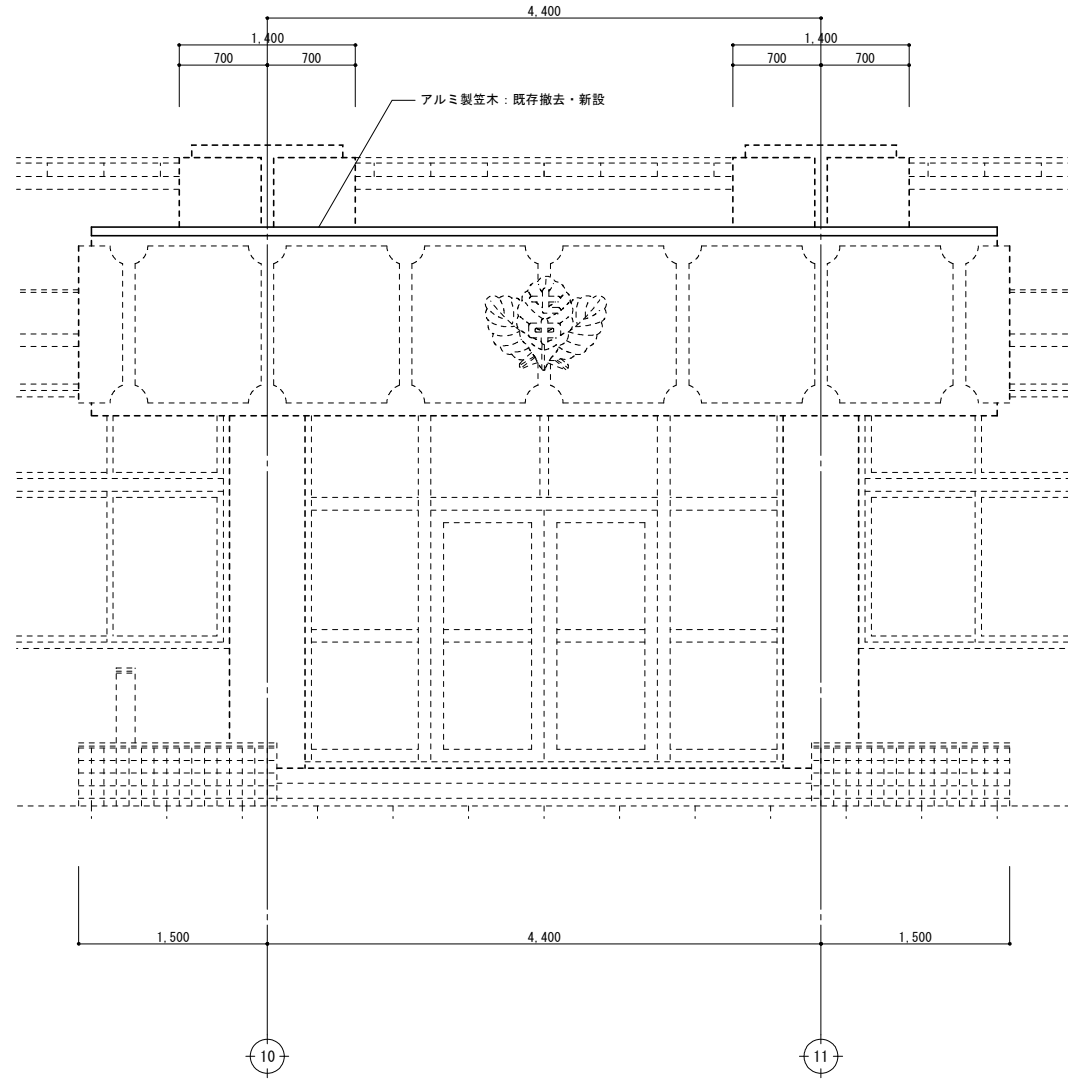
NOTE	工事名称 七戸中学校校舎改修工事（建築Ⅰ期工事）  青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	縮尺 A1=1/30, A3=1/60						単位 M M		R 8 年 3 月 作製  A — 2 0	図面名称 矩計図-1【一般部】（B棟）  管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正
		所 長	部 長	課 長	担 当	製 図	製 図				
					田中		田中				



職員玄関 断面詳細図 1/30



下足箱 展開図 1/50

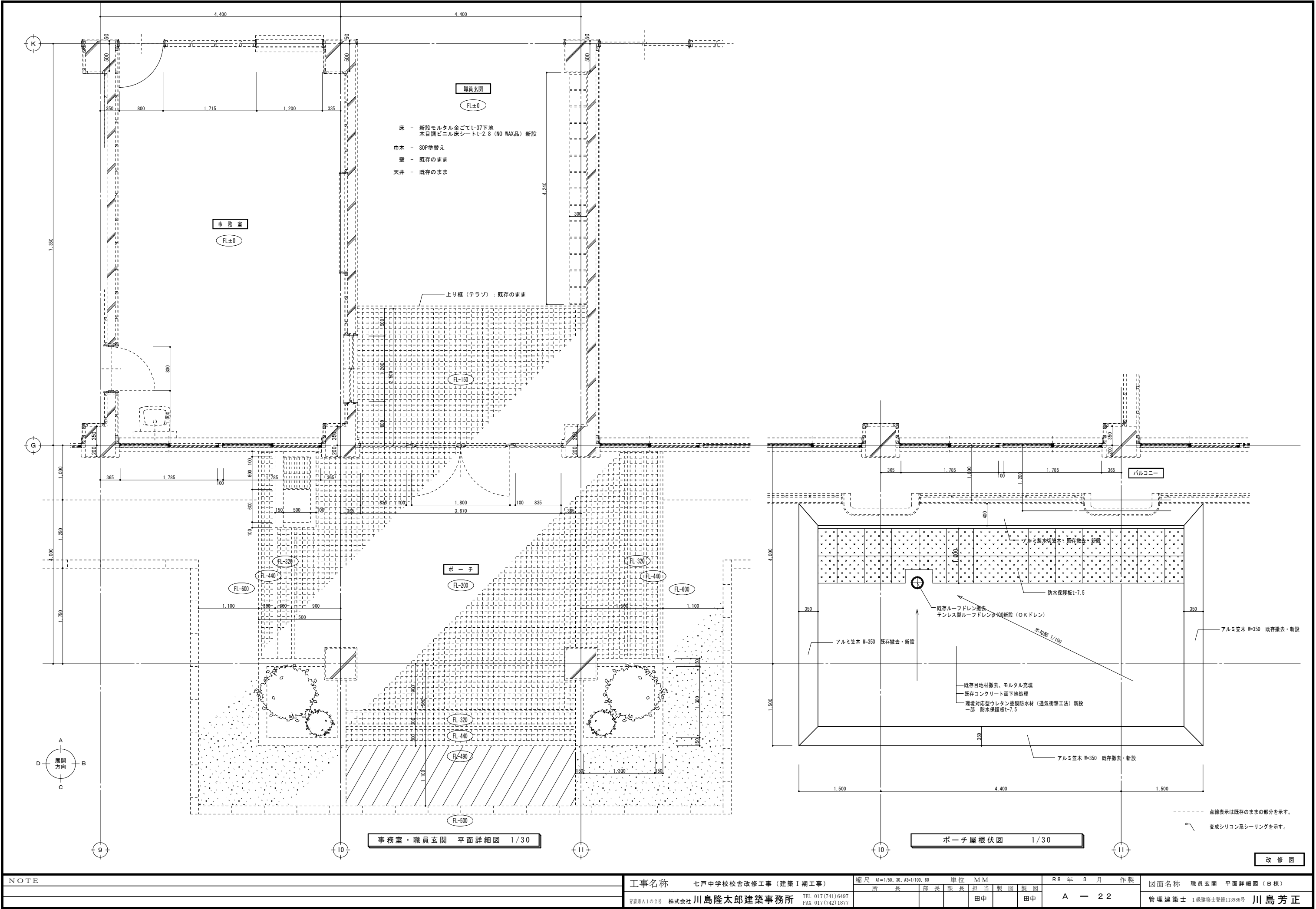


職員玄関 正面 立面図 1/30

----- 点線表示は既存のままの部分を示す。  
○ 変成シリコン系シーリングを示す。

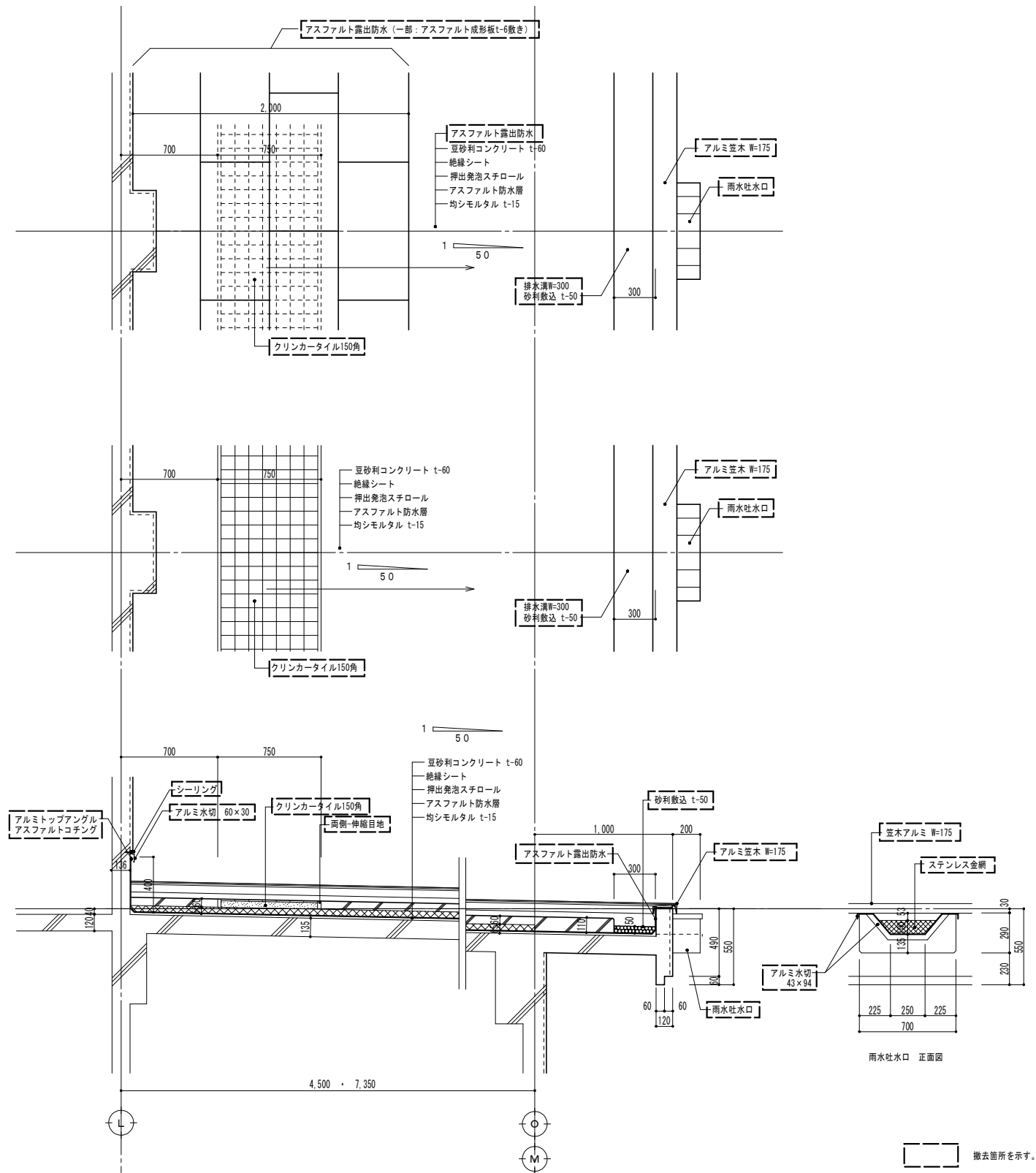
改 修 図

NOTE	工事名称 七戸中学校校舎改修工事（建築Ⅰ期工事）	縮尺 A1=1/30, A3=1/60	単位 MM	R 8 年 3 月 作製	図面名称 矩計図-2【職員玄関】（B棟）
	所 長 部 長 課 長 担 当 製 図 製 図			A — 2 1	管理建築士 1級建築士登録113985号 川島芳正
	青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877		田中	田中	



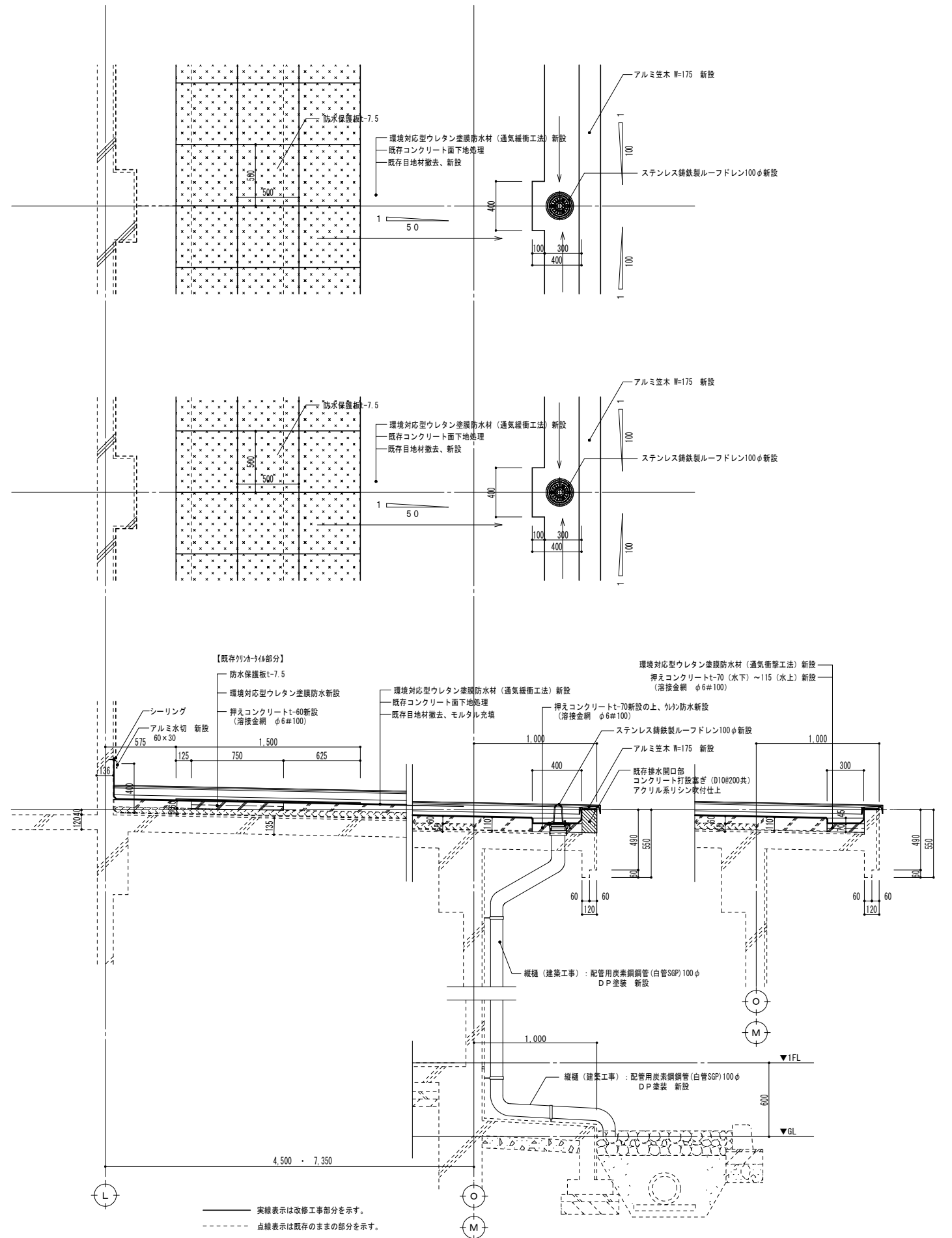
NOTE	工事名称 七戸中学校校舎改修工事（建築Ⅰ期工事）		縮尺 A1=1/50, 30, A3=1/100, 60 単位 MM						R 8 年 3 月 作製		図面名称 職員玄関 平面詳細図（B棟）			
			所 長		部 長		課 長		担 当		製 図		製 図	
			青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所		TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877						田中			
										A — 2 2		管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正		





撤去箇所を示す。

既 存 圖



- 実線表示は改修工事部分を示す。

----- 点線表示は既存のままの部分を示す。

修 因

NOTE

工事名称 七戸中学校校舎改修工事（建築Ⅰ期工事）

縮尺 A1=1/10、20、30、A3=1/20、40、60 単位 MM						
縮尺	A1=1/10	A2=1/20	A3=1/30	A4=1/40	A5=1/50	A6=1/60

R 8 年 3 月 作製

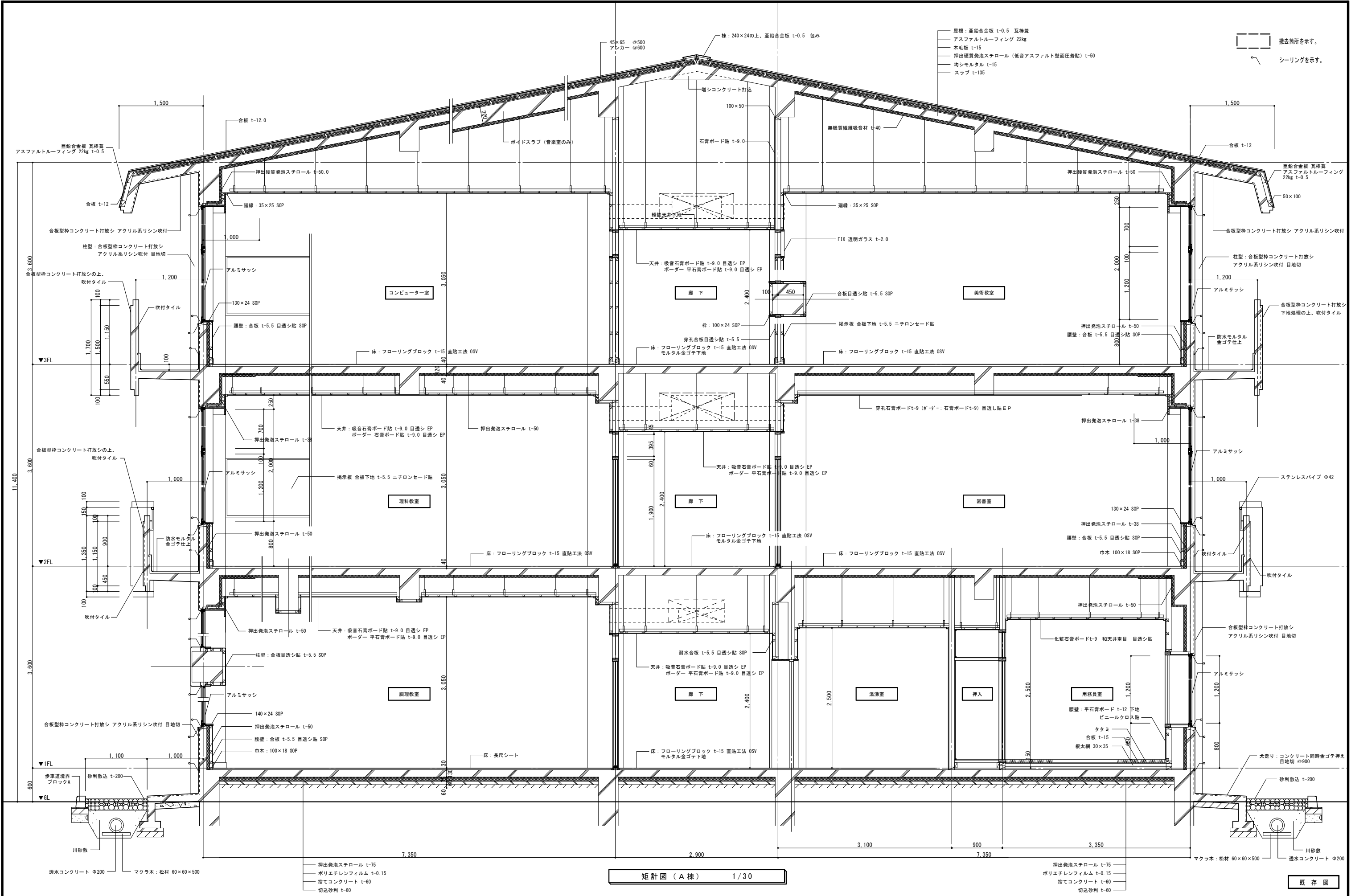
図面名称 雑詳細図 1 (B棟陸屋根改修詳細図)  
(既存図・改修図)

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497  
FAX 017(742)1877

				田中		田中
--	--	--	--	----	--	----

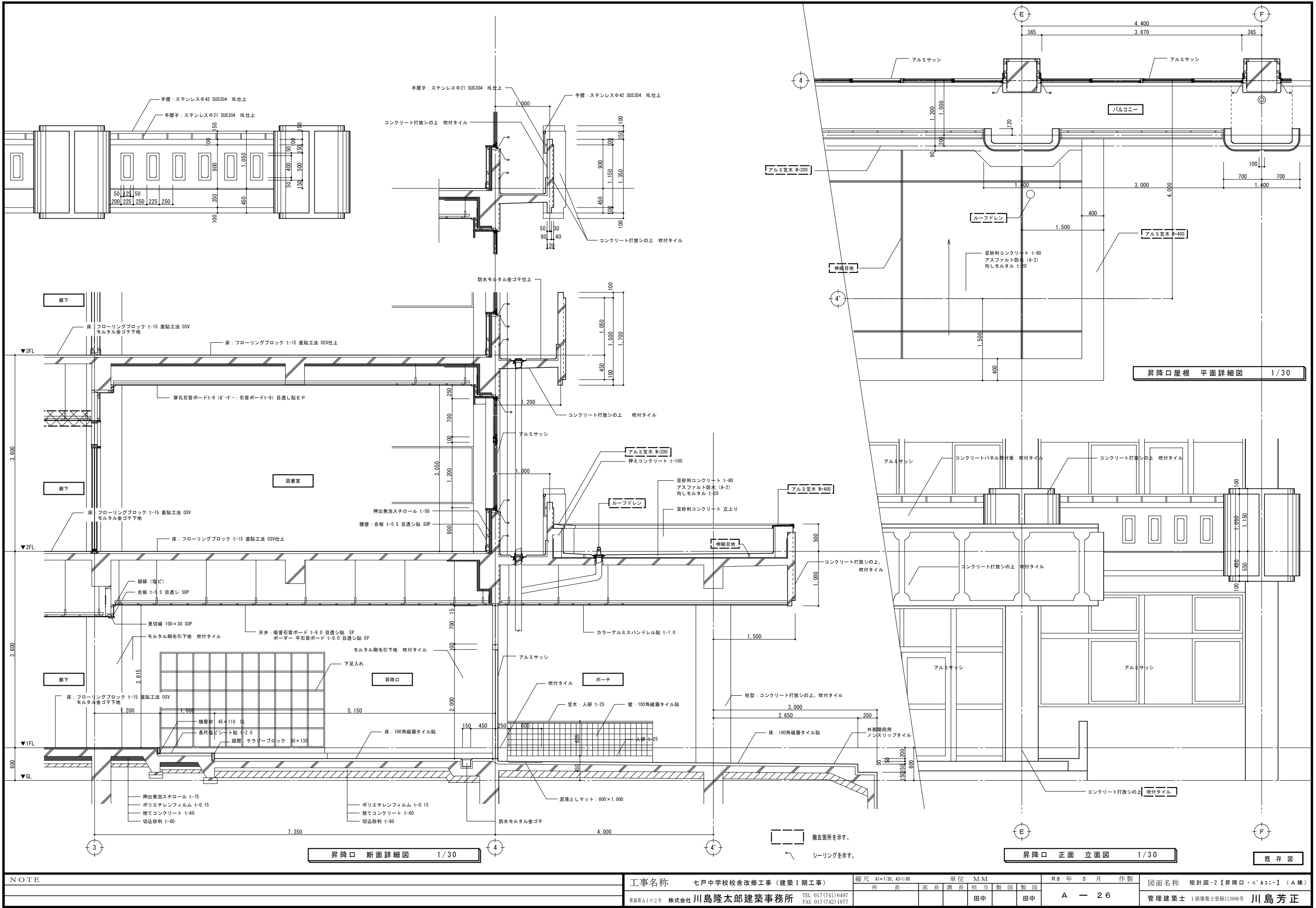
A - 24

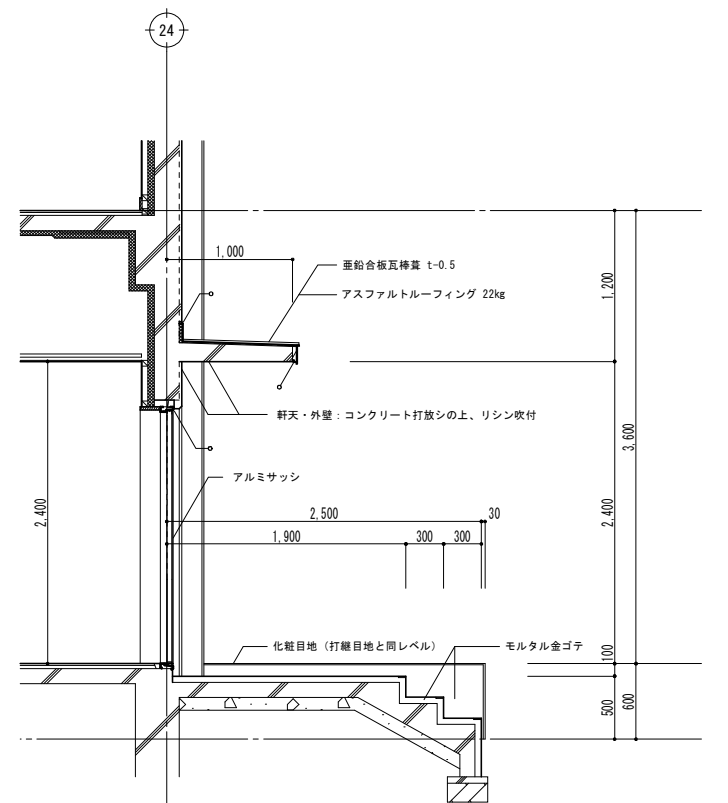
管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正





NOTE	工事名称	七戸中学校校舎改修工事（建築Ⅰ期工事）	縮尺	A1=1/30, A3=1/60	単位	MM	R 8 年 3 月 作製	図面名称	矩計図-1【一般部】（A棟）
	所 長	部 長	課 長	担 当	製 図	製 図	A	— 2 5	管理建築士 1級建築士登録113985号 川島芳正
	青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所	TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877		田中		田中			





[illegible]

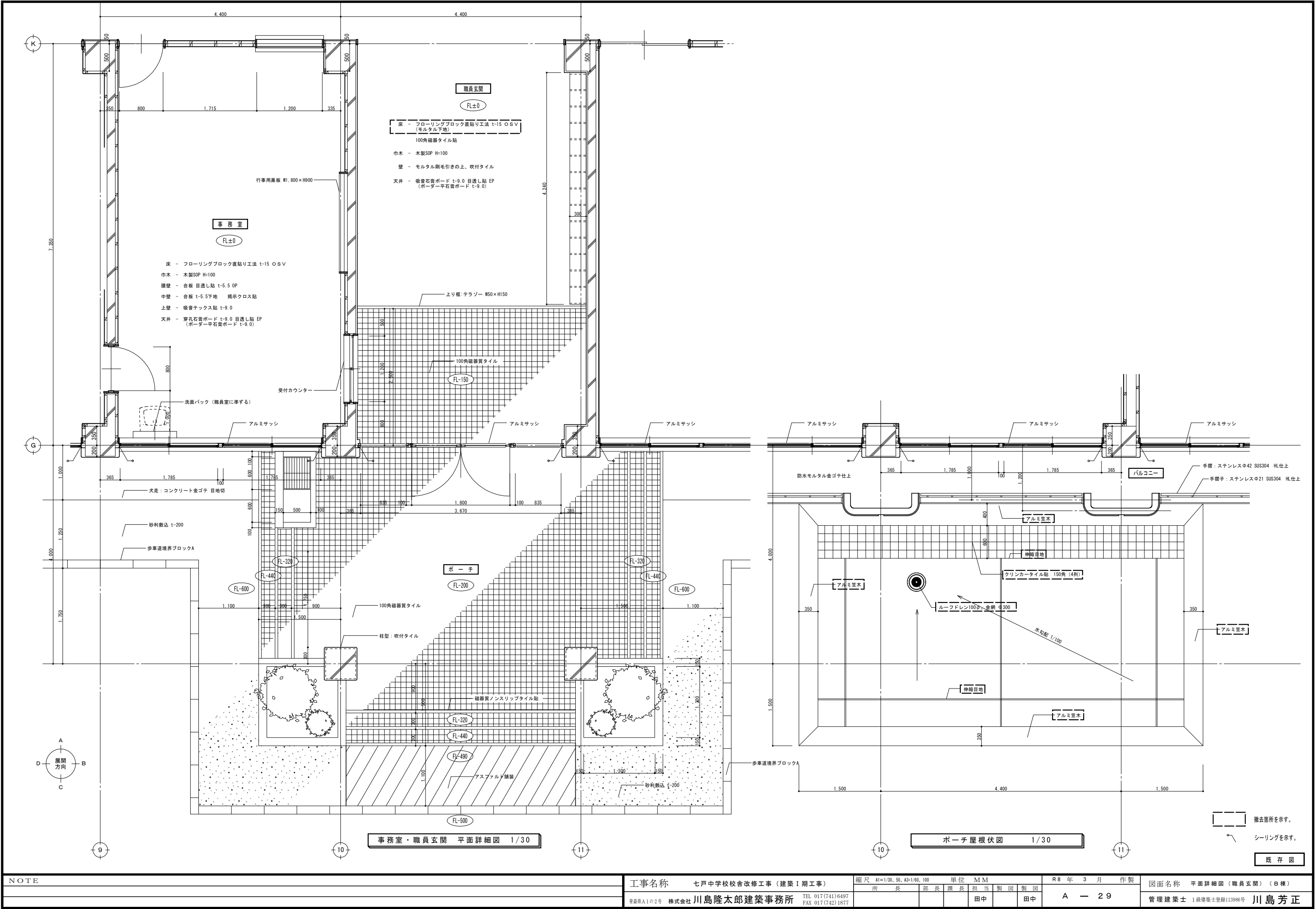
 撤去箇所を示す。

 シーリングを示す。

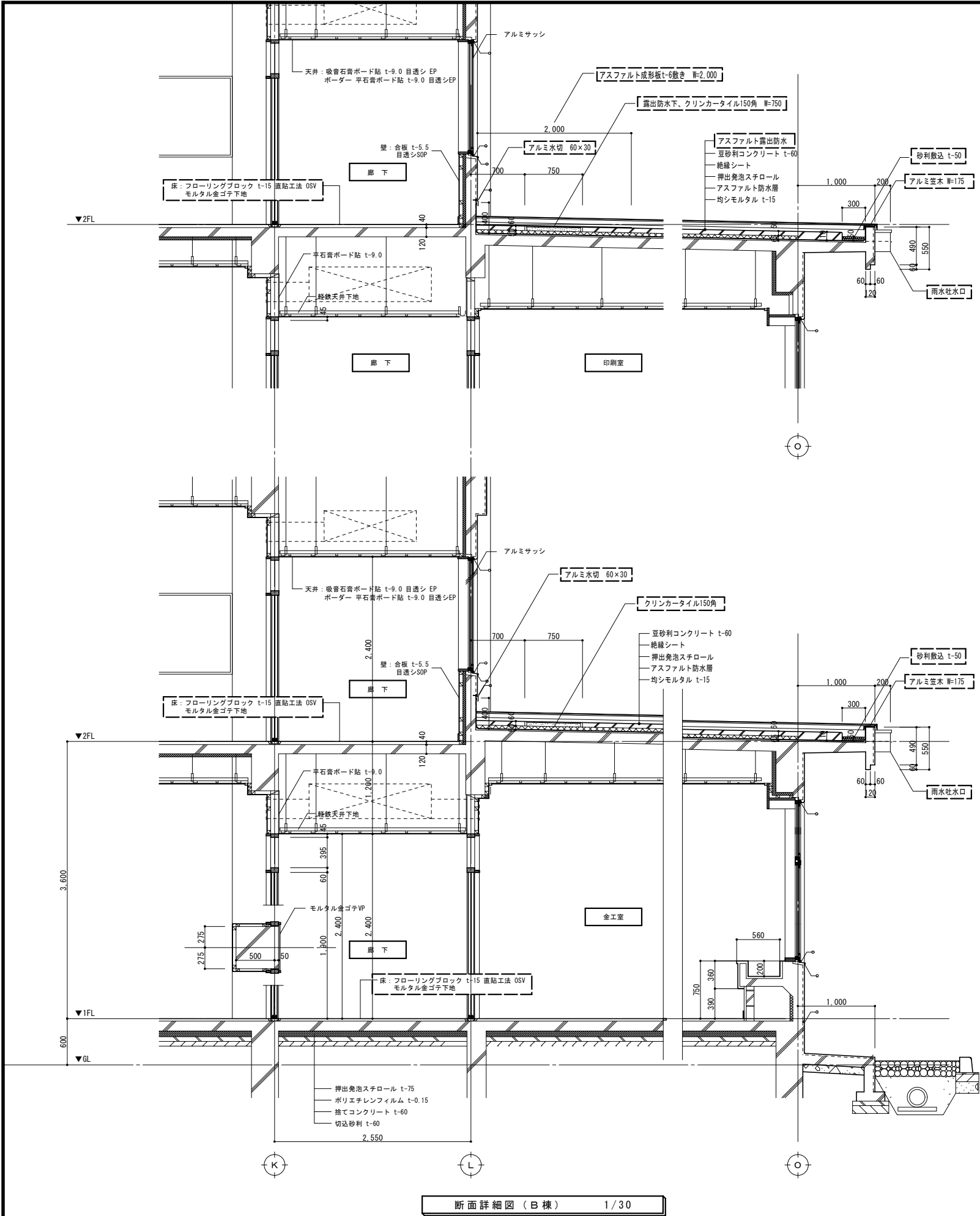
既存図

NOTE	工事名称		七戸中学校校舎改修工事（建築Ⅰ期工事）		縮尺 A1=1/30, A3=1/60		単位 MM			R 8 年 3 月 作製		図面名称		短計図-Ⅰ【一般部】（B棟）		
					所 長		部 長		課 長		担 当		製 図		製 図	
	青森県A1の2号 株式会社		川島隆太郎建築事務所		TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877						田中				田中	
											A — 27		管理建築士 1級建築士登録113986号		川島芳正	

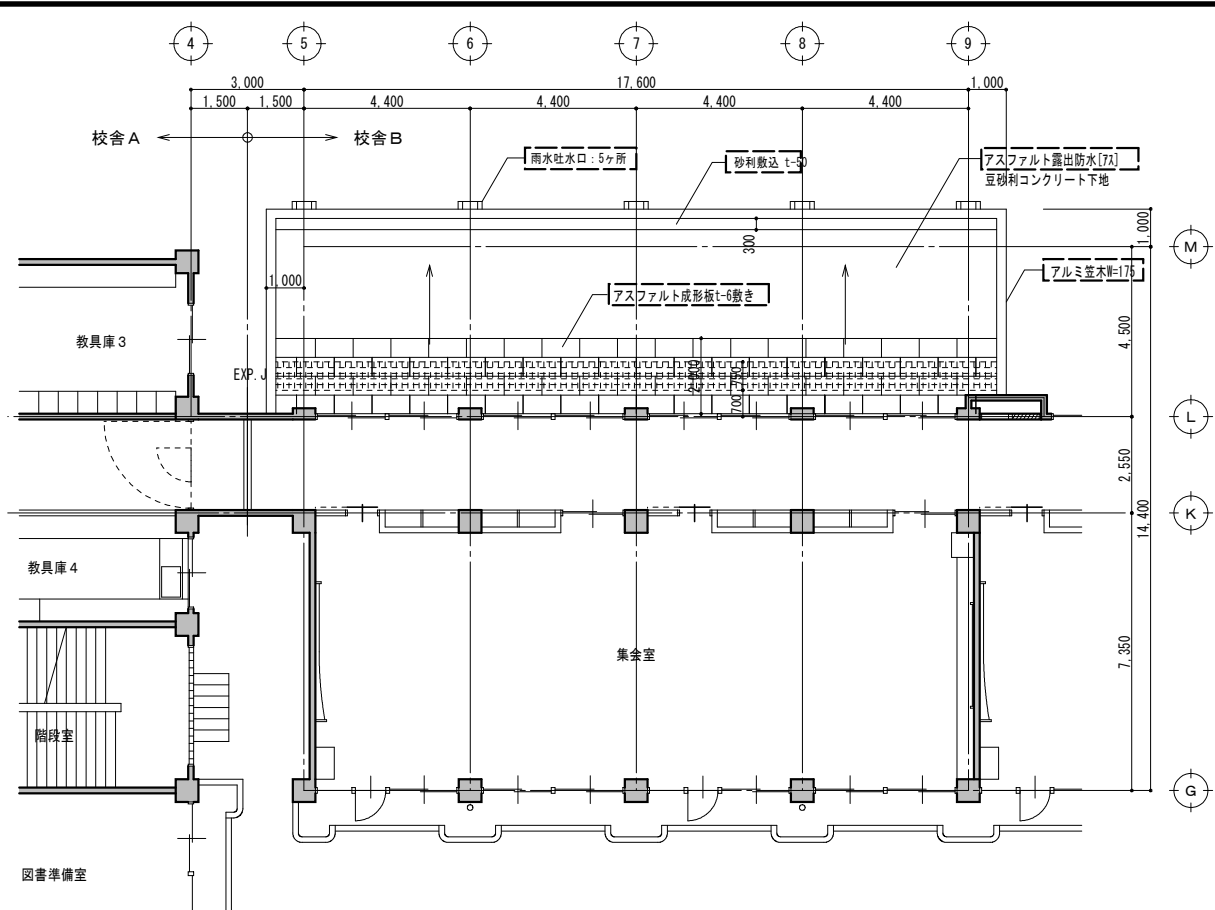




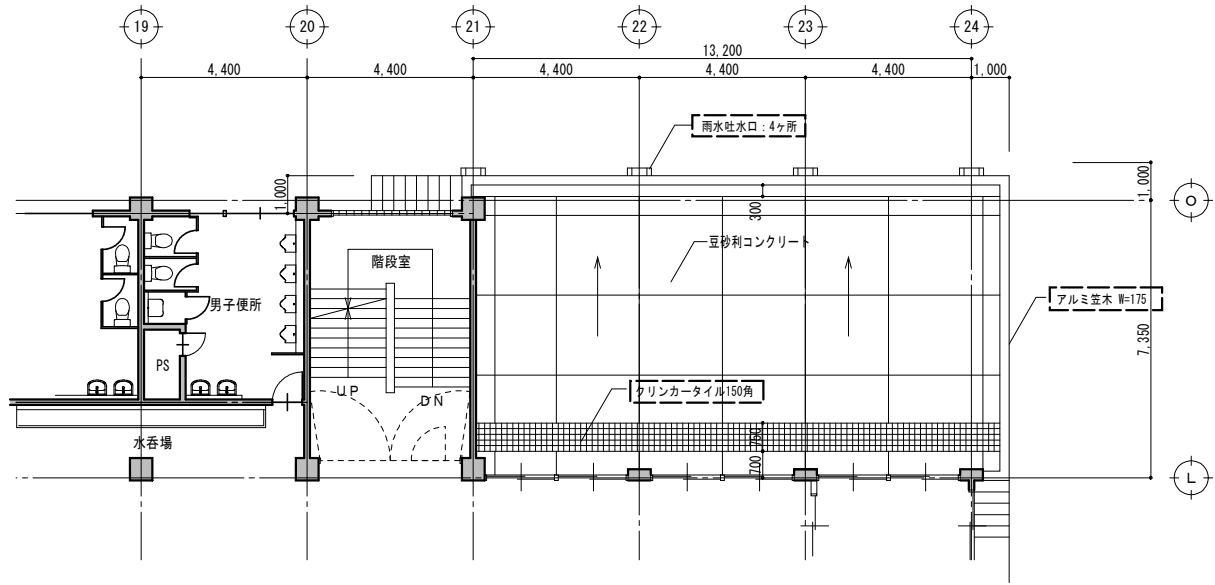
NOTE	工事名称	七戸中学校校舎改修工事（建築Ⅰ期工事）	縮尺	A1=1/20, 50, A3=1/60, 100	単位	MM	R 8 年 3 月 作製	図面名称	平面詳細図（職員玄関）（B棟）
	所長	部長	課長	担当	製図	製図	A — 29	管理建築士	1級建築士登録113985号 川島芳正
	青森県A1の2号	株式会社 川島隆太郎建築事務所	TEL 017 (741) 6497 FAX 017 (742) 1877	田中	田中				



断面詳細図 (B棟) 1/30



印刷室部屋根伏図 (B棟) 1/100



金工室屋根伏図 (B棟) 1/100

撤去箇所を示す。  
シーリングを示す。

既存図

NOTE	工事名称 七戸中学校校舎改修工事 (建築Ⅰ期工事)	縮尺 A1=1/30, A3=1/60	単位 MM	R8 年 3 月 作製	図面名称 矩計図-3・平面図【陸屋根部】 (B棟)
	所 長 部長 課長 担当 製図 製図				
	青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017 (741) 6497 FAX 017 (742) 1877		田中	田中	管理建築士 1級建築士登録113985号 川島芳正